
茨城町新たな文化的施設管理運営計画



令和6年3月

茨城町

はじめに



町では、東日本大震災により中央公民館が被災して以降、長い間、町民の文化芸術活動の拠点となるべき場所も地域間や世代間の交流などのために利用できる場所もなかったことから、平成29年度より「(仮称)茨城町新たな文化的施設(以下「本施設」という。)」整備事業を進めてまいりました。

文化芸術は、人々に喜びや感動、心の安らぎをもたらし、人生に潤いを与えてくれるものであり、現在のように成熟した社会において、町民の皆さまが生涯に亘って、より豊かな人生を送っていただくためには、文化芸術の振興は大変重要な要素の一つであります。

特に次代を担う子どもたちが、幼いころから優れた文化芸術に身近に触れる機会を持つことは、豊かな想像力や思考力を養い、人間形成の面においても大きな影響を及ぼすものであり、また、高齢者が健康で充実した生活を送る上でも、文化芸術が果たす役割は大変大きいものがあります。

また、人々が気軽に集える場所を持つことは、世代を超えた交流や相互理解を促し、豊かな社会の形成と町の活力創出の面においても大きく寄与するものと考えております。

このような中、令和3年8月に策定した「茨城町新たな文化的施設基本構想」では、「世代を問わずだれもが気軽に文化芸術にふれ、楽しみ、活動できる空間」を施設が目指す姿とし、3つの方針と5つの柱を定めて、基本・実施設計を進める一方、これまでの検討の成果をもとに、「茨城町新たな文化的施設管理運営計画(以下、「本計画」という。)」を策定し、施設の管理運営に関する具体的指針を定めました。

今後は、本計画のもと、文化芸術の振興だけでなく、町の活性化や賑わいを創出するため、様々な自主的文化事業を企画するとともに、町民ワークショップでいただいたアイデア等を十分に活かしながら、本施設の設置目的に寄与する事業を実施してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、日頃の文化芸術活動の観点から貴重なご意見とご協力をいただいた関係団体の皆さまをはじめ、町民ワークショップにおいてご意見をお寄せ下さった参加者の皆さまに対し、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

茨城町長 小林 宣夫

もくじ

I	策定の背景・目的	1
1	管理運営計画の位置づけ	1
2	新たな文化的施設の基本方針	2
(1)	新たな文化的施設が目指す姿	2
(2)	基本方針	2
(3)	5つの柱	3
II	管理運営計画	4
1	管理運営の基本方針	4
2	事業計画	6
(1)	基本的な考え方	6
(2)	年間計画のイメージ	8
(3)	プレ事業	10
(4)	開館記念事業	11
3	貸館計画	13
(1)	休館日	13
(2)	開館時間	13
(3)	使用時間区分	13
(4)	申し込み時期・方法	14
(5)	使用料の考え方	14
4	組織計画	16
(1)	基本的な考え方	16
(2)	運営手法の比較	16
(3)	運営体制	17
(4)	運営主体の業務内容	18
(5)	町民参画	19
5	広報計画	21
(1)	広報宣伝の年次目標	21
(2)	広報宣伝の手法	22
(3)	開館に向けたスケジュール	22
6	収支計画	23
(1)	基本的な考え方	23
(2)	文化施設の収支構造	23
III	開館までのスケジュール	25
IV	参考資料	26
1	新たな文化的施設を考える町民ワークショップの開催状況	26

I 策定の背景・目的

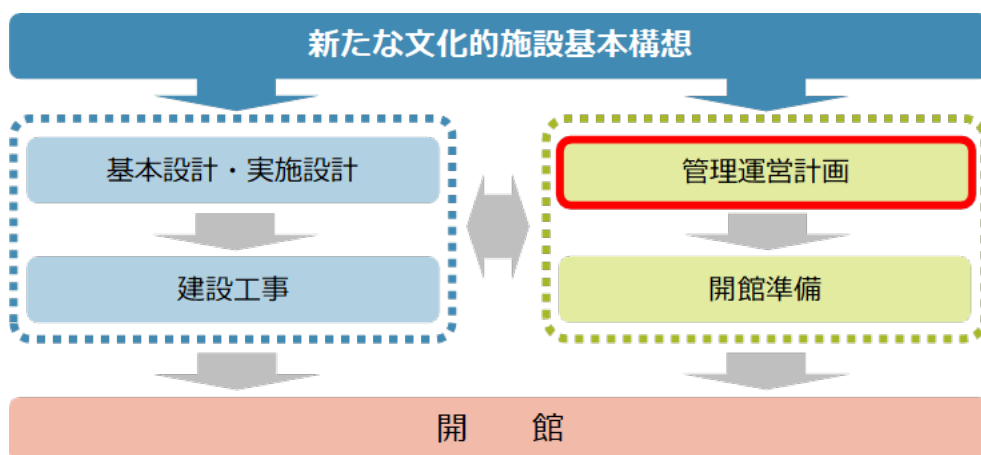
茨城町では令和3年8月、「茨城町新たな文化的施設基本構想」を策定し、町の文化芸術の振興策および「新たな文化的施設」の検討経緯、施設整備に向けた基本方針、施設計画、事業計画等を示しました。以後、これに基づいて基本設計、実施設計が進められ、令和6年度には本体工事に着手する計画としています。

令和5年度に至るまで本町では、和室や調理室などを含む公民館機能を有する茨城町駒場庁舎と、町内唯一の大規模集会施設である茨城町立中央公民館大ホールが町民の文化活動の拠点として活用されてきました。しかしながら、中央公民館大ホールは建設から約50年が経過し、雨漏りなど老朽化が著しい施設であることから、本年9月に解体工事に着手しており、新たな文化的施設はその役割を引き継ぐ必要があります。加えて、駒場庁舎や中央公民館大ホールでは不十分であった機能を補う施設として、大きな音を出す活動が可能な防音性能を備えた諸室や、プロによる音楽・演劇公演の開催にも対応できるホール設備等を整備するほか、文化芸術に身近に触れることができる鑑賞の場や、地域・世代間の新たな交流が生まれる場といった新たな役割を担っていくこととしています。

「茨城町新たな文化的施設管理運営計画」は、これまでの検討の成果をもとに、またワークショップの実施によって聴取した町民の意見を参考にしながら、新たな文化的施設の管理および運営について具体的指針を示すものです。

1 管理運営計画の位置づけ

本施設に関わる計画全体の流れのうち、管理運営計画の位置づけは以下のとおりです。新たな文化的施設の管理運営にかかる基本方針および、事業、貸館、組織、広報、収支の各事項に関する指針を定めます。



2 新たな文化的施設の基本方針

令和3年に策定した「茨城県新たな文化的施設基本構想」において、新たな文化的施設が目指す姿及び基本方針、そして5つの柱を定めています。

(1) 新たな文化的施設が目指す姿

「既存の文化施設の課題」や「町の文化芸術活動の方向性」を踏まえると、新たな文化的施設には、「気軽に参加でき」、「地域・世代間の交流が生まれる」ことが求められることから、既存の文化施設では成しえない、様々な取り組みを図り、その上で、既存の文化施設と連携しながら、文化・芸術活動の裾野の拡大や地域コミュニティの拡大など、効果的な活用を図っていく必要があります。

また、文化芸術活動への「参加者の減少」「高齢化」「若年層の参加率の低下」により、文化芸術を支える基盤の脆弱化が懸念されることから、新たな文化的施設が目指す姿を以下のとおりとします。

施設の整備に当たっては、施設が目指す姿を実現するために、施設の基本方針や5つの柱を定め、それらに基づき、地域の活性化やにぎわいを創出する施設の整備を図ります。

◇ 新たな文化的施設が目指す姿

世代を問わずだれもが気軽に文化芸術にふれ、楽しみ、活動できる空間

(2) 基本方針

◇ 新たな文化的施設の基本方針

方針1 幅広い利用に対応でき、自分たちが楽しむことのできる施設

音楽、演劇、ダンスなど様々な人々が文化芸術活動を行える自主活動の場を提供します。音楽ワークショップや演劇ワークショップなど、参加者の体験と学びを通じて、自主的な文化活動が行われる環境を醸成することのできる施設とします。

方針2 文化芸術を身近に触れることができる施設

鑑賞の場として、普段触れることの少ない質の高いものから気軽なものまで、コンサートや演劇など文化芸術に触れる施設とします。また、自宅にいても文化芸術活動に参加できる環境づくりを検討します。

方針3 多様な交流が生まれる施設

世代を問わず、誰もが気軽に利用でき、日常的に地域間、世代間の交流が生まれる施設とします。さらに、県内外に住む人達との多様な交流を促進し、町の魅力向上を図ります。

(3) 5つの柱

◇ 新たな文化的施設の5つの柱

- ① ホール用途は単に興業目的でなく、主に町民が日頃の成果を発表できる施設
- ② ホールに加えて、町民が日常的に文化芸術活動を行える諸室を備えた施設
- ③ 子ども連れにも、ゆっくり文化芸術の鑑賞や活動ができる施設
- ④ 世代を問わず、誰もが気軽に利用できる施設
- ⑤ 屋外で、日常的にイベント等が開催できる施設

文化芸術の振興だけでなく、町の活性化や賑わいを創出する

II 管理運営計画

1 管理運営の基本方針

新たな文化的施設の4つの運営方針を下記のとおり定めます。

運営方針1 生み、育てる	鑑賞→体験→練習→発表の一連のサイクルにより、町の新たな文化芸術を生み、育てる
-------------------------------	--

新たな文化的施設では、様々なジャンルの鑑賞・体験ができるプログラムを実施し、文化芸術に触れられる環境を整備します。こうした鑑賞・体験から、活動をはじめのきっかけづくりを行い、町内の文化活動の活性化を図ります。文化活動を行う人・団体が十分な練習を行えるよう、活動に適した諸室の紹介等の支援を行い、活動者のステップアップを目指した育成講座の実施も検討します。

また、初心者から長年活動している人、個人で活動している人も団体に活動している人も、誰もが定期的に発表できる機会を提供します。

鑑賞→体験→練習→発表のサイクルにより、自主性・創造性を育み、自主的・主体的な文化活動を振興します。新たな文化的施設から新しい文化活動が生まれ、発展していくことを目指します。

運営方針2 つくりあげる	町民が主役となり、町民の力でつくりあげる文化創造拠点を目指す
-------------------------------	---------------------------------------

施設の運営、事業の企画、事業の実施等、あらゆるタイミングで町民が参画できる仕組みをつくります。

町民同士のつながりから新たなネットワークを生み出し、地域の活動者や特産品、その他事業者等、様々な地域資源を掘り起こして、それらの活用・連携を積極的に行います。

また、町民が中心となって、地域資源を活かした町ならではの新たな事業を創造し、企画・制作・実施・出演まで一貫して町民が関わり、町民の力で最初から最後まで創りあげる事業の実施を目指します。

こうした活動で中心となって活躍できる人材の育成、創造性豊かな人材の発掘を行い、新たな文化的施設がそれぞれの特技を活かせる地域での活動の場となるような環境づくりを継続して行います。

運営方針3 ひろげる	町内外に文化芸術活動の輪をひろげ、いつでもどこでも誰でも気軽に活動に触れられる環境を整備する
-----------------------	---

施設の中だけにとどまらず、その他公共施設、学校や保育園、幼稚園、老人ホーム等の町内の様々な場所でアウトリーチ¹活動を行う、それぞれの自宅でも楽しめるコンテンツを配信する等、あらゆる方法で、誰もが文化芸術活動に参加し、文化芸術を身近に感じられる環境づくりに努めます。

新たな文化的施設から発信する活動を町全体、そして町外へもひろげていくため、開館前から継続して広報宣伝活動にも力を入れて取り組みます。

運営方針4 つなぎ、交わる	人と人をつなぎ、世代を超えた交流を促進する町民のための憩いの場を提供する
--------------------------	---

特別な催事がない日にも町民が日常的に足を運ぶような、安心して過ごせる場、全ての年代に開かれた場、何もしなくても心地よく過ごせる場を提供し、誰もが楽しみ、憩える居場所づくりに努めます。

来館する人それぞれの希望に沿った過ごし方ができる、誰にとっても居心地の良いサードプレイスを提供するため、利用者の希望に寄り添った運営を行います。

交流を望む人に対しては、気軽に参加できるワークショップを紹介する、やりたいことが近い人や団体とつなぐ等、世代を問わず多様な交流のきっかけを提供し、思いがけない出会いや新たなつながり、新たな交流が生まれるような運営を行います。

施設での多様な交流を通じて、豊かで活気のあるまちづくりに寄与する空間とします。

¹ アーティストを学校や福祉施設などへ派遣し、ミニコンサートや参加体験型事業、レクチャーなどを行う館外活動のこと。出前事業。

2 事業計画

(1) 基本的な考え方

令和4年度から令和5年度に実施した町民ワークショップや、基本構想での検討をもとに、本施設の事業実施方針を以下のように定めます。

① 多様な文化芸術に身近に触れることのできる鑑賞・体験機会を提供する

舞台芸術公演やアート作品展示から、気軽に参加できる各種講座まで、あらゆる鑑賞と体験の機会を設けます。文化芸術に身近に触れられる場として幅広い鑑賞事業を企画し、芸術鑑賞の間口を広げるほか、鑑賞のその先にある参加・体験の機会を充実させることで、町民の文化芸術への多様な関わり方を支援します。

- 事業イメージ**
- ・音楽、演劇、伝統芸能などの各種公演
 - ・映画や映像を使ったアートなどの鑑賞会
 - ・各種体験型ワークショップ など

② 日常的な賑わいを生み、世代・地域間の交流や仲間づくりを促進する

季節に合わせたお祭りや地元食材を使った食のイベントなど、誰もが気軽に立ち寄り参加できる催事の実施により、施設全体、ひいては地域全体の賑わいを創出します。また、世代や地域を超えた交流や、活動や境遇を同じくする仲間同士のマッチングを促進し、人と人との繋がりを生み出す事業を展開します。

- 事業イメージ**
- ・夏祭り、餅つき大会
 - ・“遊び”を通じた三世代交流会
 - ・他市町村との交流イベント など

③ 利用者の主体的な活動を支援し、誰もが新たな文化的施設での活動や滞在を楽しめる環境・機会を整える

施設利用者の文化芸術活動がより充実したものとなるよう、発表機会の創出や貸出し環境の整備、町内他施設との連携強化等を行います。また自主的な活動に訪れる人だけでなく、ふらりと立ち寄った人にとっても居心地よく楽しい空間を作ります。

- 事業イメージ**
- ・文化祭など、町民による成果発表の場

- ・カフェやキッチンカーによる憩いの場の提供
- ・共用部を活用した作品展示、館内装飾 など

④ 町民協働により一人一人の活躍の場を広げ、人材、文化、環境といった地域資源を活用する

町民が講師となる講座や、町の特産品を使った食のイベントなど、町民と協働しながら、町の魅力を再発見できるような事業に取り組みます。年齢、性別、障がいの有無等に関わらず誰もが活躍できる環境の創出に努め、事業の面でも、町全体の取り組みである「町民協働によるまちづくり」に貢献します。

- 事業イメージ**
- ・町民講師による各種講座、体験会
 - ・町の特産品を扱うマルシェ
 - ・町内の企業や店舗と共同開催する子どもの仕事体験 など

⑤ 町全体を巻き込み、文化活動の活性化とすそ野拡大を推進する

日頃から文化芸術活動に取り組む町民だけでなく、これまで関わりの少なかった人や企業、教育機関等とも協働し、新しい文化芸術の創造に繋がります。地域の名所や地元にはゆかりのあるアーティストのような魅力ある場所や人と連携しながら、施設の中だけでなく町全体に働きかけ、文化活動の更なる活性化とすそ野の拡大を図ります。

- 事業イメージ**
- ・地元ゆかりのアーティストによるアウトリーチ企画
 - ・町の歴史的な名所を巡るスタンプラリー
 - ・地元企業の協賛、協力によるイベント など

(2) 年間計画のイメージ

自主事業の実施方針をもとにした、開館後のイベントカレンダーのイメージを以下に示します。自主文化事業としては、ホールでの鑑賞系催事を実施するとともに、公演と連動したワークショップや体験会を積極的に企画します。その他、町民ワークショップのアイデア等を最大限活かしながら、施設の設置目的に寄与する事業を計画します。

<想定イベントカレンダー>

時期	会場	自主・共催事業イメージ
4月	ホール	・鑑賞事業①音楽交流フェスティバル
	諸室	・若い世代を対象とした運動教室①前半4回
	屋外	・自転車の乗り方教室
5月	ホール	・鑑賞事業②舞踊 ・自転車の展示・販売会
	諸室	・ホール公演と連動したダンスワークショップ ・若い世代を対象とした運動教室①後半4回
	屋外	・町の歴史的な所を巡るスタンプラリー ・防災体験ブースの出展①
6月	ホール	・鑑賞事業③クラシック音楽 ・長生大学 開講式
	諸室	・町にゆかりある芸術家とのワークショップ① ・町民講師によるハンドメイドワークショップ・展示
	屋外	
7月	ホール	・鑑賞事業④映画・映像上映 ・高校生向け就職説明会
	諸室	・ホール公演と連動した展示
	屋外	・スポーツフェスティバル
8月	ホール	・鑑賞事業⑤伝統芸能 ・施設内探検(バックステージツアー)①
	諸室	・ホール公演と連動した伝統芸能体験 ・町にゆかりある芸術家とのワークショップ②
	屋外	
9月	ホール	・鑑賞事業⑥文化人講演会 ・町民によるステージ発表会、文化祭
	諸室	・若い世代を対象とした運動教室②前半4回
	屋外	・大階段や共用部を使ったアートイベント ・アウトドア用品展示イベント(屋外、ホール、キャンプ場連動)
10月	ホール	・鑑賞事業⑦サーカス・大道芸
	諸室	・ホール公演と連動した体験ワークショップ ・地産食材活用イベント(屋外連動) ・若い世代を対象とした運動教室②後半4回
	屋外	・地産食材活用イベント(諸室連動)
11月	ホール	・鑑賞事業⑧手作り楽器パフォーマンス

		・町民祭
	諸室	・ホール公演と連動した工作ワークショップ ・町にゆかりある芸術家とのワークショップ③
	屋外	・いばらきまつり、町民祭 ・防災体験ブースの出展②
12月	ホール	・鑑賞事業⑨クリスマスコンサート ・施設内探検(バックステージツアー)②
	諸室	・ホール公演と連動した楽器クリニック
	屋外	・イルミネーション、ライトアップ
1月	ホール	・鑑賞事業⑩民俗芸能 ・成人式
	諸室	・遊びを通じた3世代交流会 ・茨城町の民芸品開発連続ワークショップ①
	屋外	
2月	ホール	・鑑賞事業⑪子ども向けステージ ・町民の日記念式典／人づくり推進事業 講演会
	諸室	・ホール公演と連動した親子向け体験会 ・町にゆかりある芸術家とのワークショップ④ ・茨城町の民芸品開発連続ワークショップ②
	屋外	
3月	ホール	・鑑賞事業⑫お笑いライブ ・大学生向け就職説明会
	諸室	・茨城町の民芸品開発連続ワークショップ③
	屋外	
通年	ホール	
	諸室	・障がい者による物品販売事業(諸室、共用部)[週1回～半年に1回程度] ・障がい者やその家族への障がい福祉相談会[月1回程度]
	屋外	・キッチンカーを活用した茨城町「食」事業[週1回程度]
	その他	・地元ゆかりのアーティストやボランティア等による学校、福祉施設等へのアウトリーチ[随時] ・施設内共用部を利用した防災クイズラリー[常設展示]

(3) プレ事業

1) 基本方針

プレ事業は開館前のテスト期間でありながら、新施設の周知や町民参加の第一歩といった重要な役割を担います。自主事業全体の実施方針に照らしながら、プレ事業の方針を以下のように定めます。

新たな文化的施設の存在を広く町民に知らせ、開館に向けた期待を高める

本施設の整備についてまだ知らない人に向けた周知の機会となる事業を行います。また本施設を既に知っている人には、開館をより楽しみにしてもらえるようアピールし、町全体の期待と関心を高めます。

早期から町民参加の機会を設け、町民協働の基礎をつくる

本施設は、町民協働により一人一人の活躍の場を広げることを目指しています。そのためプレ事業の段階から町民の積極的な参加を呼びかけ、一緒に活動していくことで“わたしたちの施設”という意識を喚起し、開館後の協働へとつなげていきます。

開館後へ続く取り組みの起点とし、長期的な視点を取り入れる

プレ事業が一過性のものとして完結するのではなく、開館記念事業、さらには開館後の事業へと連続していくよう、企画内容を検討します。同時に、開館後の連携・協働に向けた人材発掘・育成の第一歩と捉え、将来を見据えた事業となることを目指します。

2) 実施期間

令和4年度から既に一部のプレ事業について準備を開始していますが、令和5年度からは実施段階へ移行します。令和8年度の開館へ向けて、随時プレ事業を企画、実施していきます。

3) プレ事業の内容例

町民ワークショップで寄せられたアイデアや、既に取り組みが始まっている事業をもとに、プレ事業の具体的なイメージを以下に示します。

【開催内容イメージ】

- ・リージョナルシアター事業²（令和4年度申請、令和5年度実施）

²（一財）地域創造が提供する、創造性豊かな地域づくりや職員育成を目的とした事業。演劇の表現者が派遣され、演劇の手法を使ったワークショップなど、地域独自のプログラムを共に企画、実施する。

- ・茨城町立中央公民館の解体に伴うさよならイベント（壁面へのメッセージ書込みなど）
- ・建設現場の仮囲いを活用したアート、メッセージの書込み
- ・建設現場見学会
- ・町民の日を記念した関係者向けホールお披露目公演
- ・開館記念事業での発表に向けた制作や練習（アート制作、ダンス、演劇など）
- ・アウトリーチによる鑑賞事業
- ・SNSを活用した施設PR
- ・ラッピングバスによる町内外への宣伝
- ・施設の愛称募集

(4) 開館記念事業

1) 基本方針

開館記念事業では、多くの町民と開館を祝い、共に町を盛り上げる機会とするとともに、プレ事業からの繋がりや開館後の事業への発展を引き続き意識した取り組みが必要です。そこで、開館記念事業の方針を以下のとおりとします。

町民とともに開館を祝い、事業期間を通じた賑わいを創出する

施設の開館を祝い、皆で喜びを共有するとともに、開館当初だけでなく事業期間全体を通じて賑わいを創出するバランスの良い事業計画とすることで、広く町の賑わい拠点として認知されることを目指します。

プレ事業からの蓄積を活かし、また開館後の発展を期待させる事業とする

開館を記念した特別感だけでなく、プレ事業での取り組みを踏まえ、またその後の継続・発展を見越した事業展開とすることで、本施設の将来に対する期待感を高めま

多彩なラインナップにより新たな文化的施設の可能性を提示する

本施設は、これまでの茨城町にはない新たな機能や性格を有します。したがって、開館記念事業を通して施設の存在のみならず様々な使い方、過ごし方を紹介し、以降の町民の利用の可能性を広げます。

2) 実施期間

開館後、半年から1年間程度を開館記念事業期間と定めます。

3) 開館記念事業の内容例

町民ワークショップで集まったアイデアをもとにした具体的な事業イメージは次のとおりです。

【開催内容イメージ】

- ・町ゆかりの著名人等による公演（お笑いライブ、音楽ライブ、講演会など）
- ・キッチンカー、花火、お祭りなど人が集まる仕掛け
- ・制作や練習の成果発表（アート、ダンス、音楽など）
- ・町に関する展示や紹介
- ・アーティストとの連携による作品制作、公開（音楽、ラジオ、アートなど）
- ・新施設の体験会（ゲーム大会、施設探検、ドローン撮影など）
- ・ポスターやインターネット等を使った施設 PR

4) 開館記念事業実行委員会

プレ事業期間から開館後へと町民協働の取り組みを繋げていく観点から、町民による開館記念事業の実施を目的とした実行委員会の設置を検討します。町民ワークショップの参加者を中心にメンバー募集を行い、事業の企画から実施まで、あらゆる段階で町民の力を発揮できる場となるよう、順次調整を進めます。

3 貸館計画

本施設では、世代を問わず誰もが文化芸術活動を楽しめる場として、誰にとっても使いやすい、また賑わいづくりに資するような規則を定める必要があります。

したがって、施設の設置条例および条例施行規則の策定、またそれに基づく使用規則等の決定時には、次のような考え方を基本とします。

(1) 休館日

本施設は、これまでより施設規模が大きく、かつ複雑になることから、限られた職員数による管理運営の中にあっても、十分な保守点検や安全管理を行える体制を整える必要があります。

このため、周辺施設の休館日の設定状況等も踏まえ、定期休館日は原則として週に一日とし、年末年始は12月29日から1月3日を休館とします。また全館設備点検等のため、必要に応じて臨時休館日を設けることがあります。

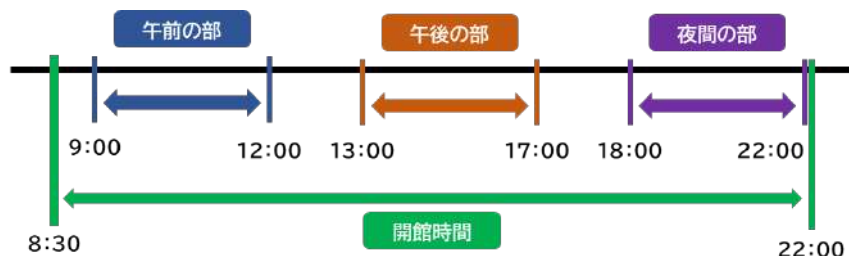
(2) 開館時間

開館時間は8:30～22:00を原則とします。後述するとおり施設の貸出開始時刻は9:00ですが、余裕を持った開館時間とすることで、手続きに訪れる利用者の利便性や満足度の向上を目指します。

(3) 使用時間区分

利用者の入れ替え時間を適切に確保し、施設の原状回復の確認等を十分に行って快適に利用できる環境を整えるため、ホールおよびその他諸室の使用時間区分は、午前（9:00～12:00）、午後（13:00～17:00）、夜間（18:00～22:00）の3区分制とします。

屋外広場については、短時間の利用やイベントでの終日利用など、ホールおよびその他諸室とは異なる利用形態も考えられることから、占有貸出しを行う場合は1時間ごとの時間貸しや1日単位での貸出しなど、利用想定に合わせた柔軟な設定を検討します。



(4) 申し込み時期・方法

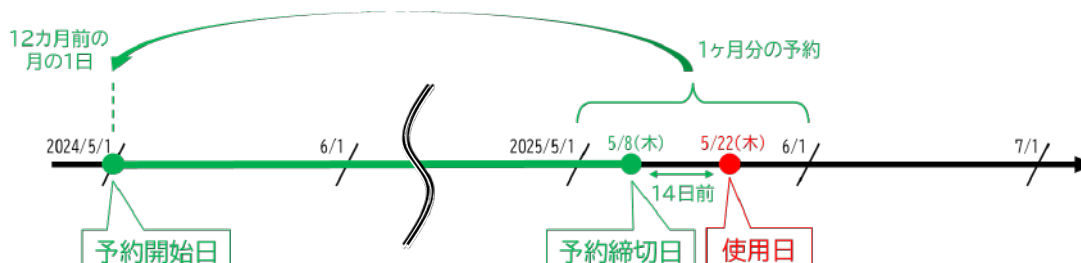
○申し込み時期

利用者の申し込み時期については、全国的な傾向や周辺施設の状況を鑑み、大型イベント等の開催のため早期の施設予約が想定されるホールや屋外広場は12カ月前から、その他の諸室は6ヶ月前から開始することを原則とします。ただし、開館初年度はこの限りではない場合があります。

<施設申し込み時期>

施設	申込み時期
ホール・屋外広場	使用日の12カ月前の月の1日から使用の14日前まで
その他諸室	使用日の6ヶ月前の月の1日から使用の前日まで

例)ホールの申し込み時期イメージ



○支払い方法

施設窓口への使用申請に伴い、使用料を現金納入することとします。ただし、これまでどおり納付書による支払いも可能とするなど、利用者の選択肢を広げる方策について引き続き検討します。

なお窓口の受付時間は、役場の開庁時間に準じ8:30~17:15を基本としますが、開館日に合わせ土日祝日も受付を行います。

○利用調整

利用者は先着順の受付とします。なお、インターネット予約システムを導入する場合は最適な利用調整の方法についても併せて検討を行います。

(5) 使用料の考え方

使用料金は、茨城県内や近県の類似施設および現在の中央公民館大ホール、駒場庁舎の料金と比較し、バランスに配慮しながら、多くの方々にとって利用しやすい設定とします。同時に、施設の運営にかかる経費と受益者負担の観点を整理し、安定的かつ持続的な施設運営を可能とする料金体系とすることも重要です。

貸出備品類についても、施設の使用料とは別に、他施設との比較を行いながら料金を設定するものとします。

○減免・割増基準

減免基準については、町民による文化芸術活動の支援と更なる活性化を目的として、類似施設および現在の中央公民館大ホール、駒場庁舎の基準を参考に検討します。

また本施設の目指す姿や基本方針等を踏まえ、営利目的での施設利用に対する使用料の割増制度導入を検討します。

4 組織計画

(1) 基本的な考え方

新たな文化的施設では、運営方針の実現に向けて、多様な事業を実施できる体制を構築するほか、町民の積極的な管理運営への参画を促す環境を整備する必要があります。

組織計画にあたっては、運営の基本となる人員を確保することに加えて、専門人材を十分な人数で配置し、施設で働く人員や、管理運営に参画する町民がそれぞれの能力を活かせる体制を組むことが重要です。更には、新たな能力の開発、向上が期待できる環境も望まれます。

本項では、以上の考え方をもとに、施設運営者に求められる組織のあり方と、町民参画を推進するための新たな取り組みや組織作りについての指針を示します。

(2) 運営手法の比較

直営あるいは、指定管理のどちらを選択する場合でも、それぞれにメリットとデメリットがあります。運営主体の特徴を活かし、課題を解決するための方策やその実現性も合わせて判断する必要があります。

運営主体を直営/指定管理者とした場合のメリットとデメリットについては以下のとおりです。

項目	直営	指定管理
事業面での費用	・予算の確保や運用面での縛りが多く、効率性や収益性のインセンティブが働きにくい △	・予算の柔軟な運用や効率的な運営が可能 ◎
ランニングコスト	・どちらを選択してもかかる費用に大きな変動はない ※一般財団法人地域創造「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」に基づく試算による ○	○
人件費	・どちらを選択したとしても基本的に必要となる人員体制に大きな変動はないため、人件費も大差はない ※令和3年度 茨城町職員平均給与費等及び令和3年度 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」に基づく試算による ・人件費分はもともと町の職員として予算をもっているため、新たにかかることはないが、町役場の人件費を施設の人件費として振り替えてみたときには、自治体職員のほうがやや費用が多くかかる傾向にある ○	・人件費分の予算を用意する必要がある ○
行政内部のネットワーク	・文化政策や関連部署と連動性が高い ・自治体組織内での連携(教育、福祉、まちづくり等)ができる ◎	・指定管理者の所管課が積極的にサポートしないと他分野との連携は図りにくい ×

芸術分野のネットワーク	・周辺都市の公共文化施設とのネットワークを作りやすい ○	・アーティストの招聘・出演交渉に必要な人脈等をもっている ○
地域のネットワーク	・地域内各種団体との連携が図りやすい ・住民、教育機関、企業メセナ等との連携が図りやすい ◎	(民間の場合) ・地元企業ではない場合、地域連携を行うためには所管課の協力が必要(財団等の公共的団体の場合) ・民間企業よりは地域のつながりをもっている △
自主事業	・見識の浅い職員が行う場合、内容の充実が難しいが、専門の職員を雇用できる場合やノウハウを持っている職員を配置できる場合は、内容の充実、事業の継続性が確保できる △	・法人形態(組織目的)によっては、非効率・不採算な事業には消極的になる ・他市・全国と同等の事業の提供が期待できる △～○
アウトリーチ	・担当者が庁内調整できるため実施可能性は高い ◎	(民間の場合) ・所管が関係各所に調整をとらないと、実施しにくい (財団等の公共的団体の場合) ・民間企業よりは直接調整などがしやすい ×～△
町民参加	・地域の実情を踏まえた運営や事業、町民協働が可能 ◎	・民間事業者にとっては負担が大きく、実現が難しい ×
専門性の確保	・人事異動によるノウハウの継承が難しく、専門的人材の継続的確保が課題 ×	・専門的人材・ノウハウを有し、質の高いサービスや事業の提供が期待できる △～○

(3) 運営体制

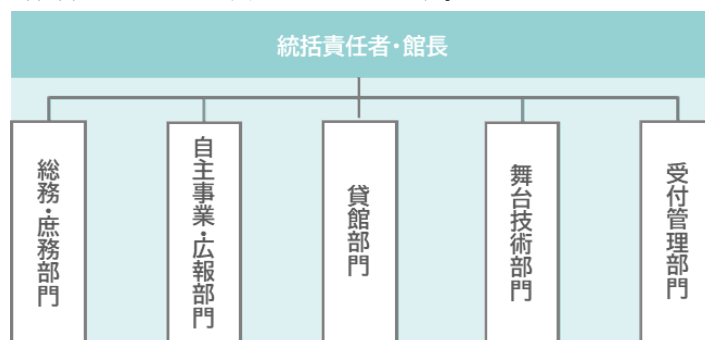
1) 運営主体について

基本的な考え方に基づき、本施設は、町の活性化を図るため、庁内の横のつながりを活かした事業や地域で活動されている方と連携した事業を実施し、積極的な町民参画が行われる施設となることを目指します。そのため、運営主体については直営とすることを予定しています。

ただし、直営では職員の異動によりノウハウが継承されにくいこと、予算の柔軟な運用がしづらいこと等のデメリットがあります。特に事業の実施については、行政職員にとって経験が少ないため、開館当初は専門家に委託を行い、ノウハウを蓄積する等の対策を検討します。また、舞台技術等特別な技術が必要な業務をはじめ、その他にも業務内容によっては、民間企業への委託を検討します。直営のデメリットを踏まえたうえで行政と民間の役割分担を整理し、新たな文化的施設において最大効果を得られる運営のあり方を構築します。

2) 運営体制のイメージ

運営組織の体制イメージは下図のとおりです。



3) 運営人員配置の想定

これまでの検討を踏まえ、本施設の運営に最低限必要な人員数は下記のとおりです。

部門	人数
統括責任者・館長	1名
総務部門	2名(1名貸館兼務)
貸館部門	3名(1名総務兼務)
自主事業・広報部門	2名
舞台技術部門	委託対応
受付管理部門	3名

(4) 運営主体の業務内容

本施設において、職員に求められる主な業務内容と職能は次のとおりです。

部門	業務内容
統括責任者 館長	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の管理運営全般の最終判断 町、地域、他施設等との調整、連絡 個人情報保護責任 施設の使用許可 他業務支援
総務部門	<ul style="list-style-type: none"> 予算執行管理 使用料・入場料等の出納、入金管理 職員の労務管理 委託などの契約管理 報告書類・説明書類等の作成、取りまとめ 他業務支援
自主事業・広報 部門	<ul style="list-style-type: none"> 年間自主事業計画・事業報告の作成 自主・共催事業の企画・制作 プロモーター³・上演団体との調整、契約 共催、後援、協力事業の製作等 情報誌・ホームページ、SNS等の発行・更新 チケット販売状況管理・販売促進

³ コンサートなどの公演を主催・運営する興行主のこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関等との連携(アウトリーチ) ・助成金、協賛金獲得のための申請、調整 ・地域の文化団体等の連絡調整及び文化活動の支援 ・町民参加活動の支援
貸館部門	<ul style="list-style-type: none"> ・使用受付(問合せ、申請書の受付等) ・使用者への助言(技術の所管に属するものを除く) ・許可書類作成 ・下見・事前打合せ対応 ・鍵の貸出管理、使用前後の原状復帰確認 ・使用中の安全管理 ・使用者拡大営業 ・使用案内・パンフレット等の作成・配布 ・館内情報設備(催物案内等)の管理・設定 ・チケット販売 ・施設の維持管理業務 ・委託などの契約管理
舞台技術部門	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の公演等におけるプランニング、オペレーション、舞台進行 ・貸館における舞台技術の管理、簡易操作 ・下見・事前打合せ対応 ・舞台特殊設備の安全管理・日常点検 ・舞台特殊設備の保守点検立ち会い ・備品の貸出、日常管理
受付管理部門	<ul style="list-style-type: none"> ・使用受付(問合せ、申請書の受付等) ・許可書類作成 ・鍵の貸出管理、使用前後の原状復帰確認 ・館内情報設備(催物案内等)の管理・設定 ・チケット販売

(5) 町民参画

1) 町民参画の考え方

基本構想にも示したとおり、本町は町民協働によるまちづくりを推進しており、本施設においても「町民協働による新しい文化芸術の創造」は重要な取り組みの一つです。また、同様に基本構想では、SDGs⁴の達成に向けたミッションの一部として「地域コミュニティイベント、ボランティア活動等への積極的な参画促進」を掲げており、町民との協働による様々な効果が期待されています。

既に本町では、登録制の生涯学習町民講師が町の主催事業である町民教養講座で指導を行ったり、各種ボランティア団体が文化活動を行ったりと、町民の力が町の生涯学習、文化芸術等の施策に大きく関わっています。町民の文化活動への「参加」のみならず、積極的な「参画」の機会を創出することで、これまでの取り組みを更に継続、拡大し、本施設開館後の町民参画に繋げていくことが重要です。

⁴ 国連で合意された2030年までの世界的な優先課題および世界のあるべき姿を定めた世界共通のゴール。17の目標と169のターゲットで構成される。

2) 町民参画の経緯

本施設の整備検討における町民参画の経緯は以下のとおりです。

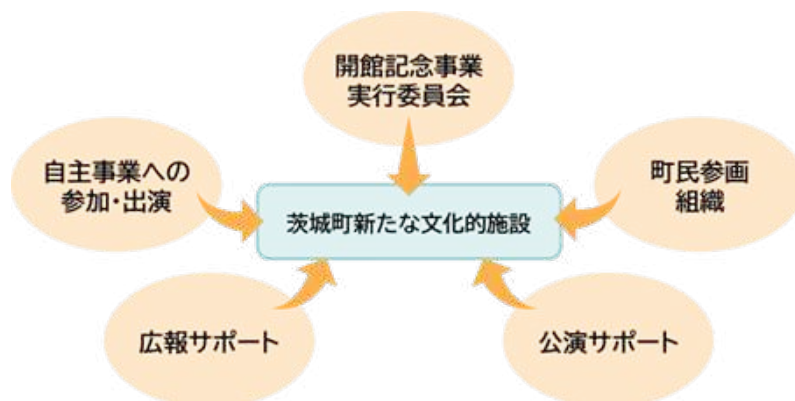
実施年度	実施内容
令和3年	「茨城県新たな文化的施設基本構想」策定 ・茨城県文化的施設整備建設検討委員会の設置 ・町民アンケートの実施 ・文化協会加盟団体からの意見聴取 ・パブリックコメントの実施
令和4年	「茨城県新たな文化的施設整備基本設計」策定 ・茨城県新たな文化的施設を考える町民ワークショップ～基本設計編～の開催(全5回) ・茨城県新たな文化的施設を考える高校生ワークショップの開催
令和4～5年	「茨城県新たな文化的施設管理運営計画」策定 ・茨城県新たな文化的施設を考える町民ワークショップ～施設の運営方法編～の開催(全5回) ・パブリックコメントの実施

3) 今後の展開

町民ワークショップの中で挙げられた意見等を参考に、開館前のプレ事業段階および開館後の町民参画においては、下記のような活動を推進します。施設運営者は活動の受け皿としての組織・仕組みづくりに取り組み、町民の本施設へのあらゆる関わり方を支援します。

【町民参画による活動のイメージ】

- ・開館記念事業実行委員会によるイベントの企画、実施
- ・町民参画組織への参加
- ・チケットもぎりや場内案内等、公演実施のサポート
- ・情報誌の取材や編集等、広報活動のサポート
- ・自主事業への町民の参加、出演



5 広報計画

本施設の広報宣伝においては、その基本方針の実現に向け、単なる事業の集客のための宣伝にとどまらず、日常的な賑わいの創出や文化芸術活動に関する情報の提供、貸館利用率の向上等に資する多方面に向けた広報活動を行う必要があります。

町民ワークショップで挙げられた情報発信に関する意見等を参考に、本施設の広報計画を次のように定めます。



(1) 広報宣伝の年次目標

広報宣伝の実施にあたっては、開館前、開館初年度および2年目以降のそれぞれの時期に合わせた目標を設定します。

時期	目標	内容
開館前	①整備状況や施設機能の周知 ②期待感の醸成	プレ事業の開催や利用者説明会の実施などを通して、施設の開館時期や使い方などの基本情報を周知するとともに、新たな施設への期待感を高めます。その他、愛称募集のような開館前ならではの取り組みによって、施設をより身近に感じられるよう工夫します。
開館初年度	①新規来館者の発掘 ②文化情報発信拠点としての認知度向上	開館記念事業の開催により町内外から新規来館者を呼び込むとともに、文化芸術に関する情報発信を行う施設としての認知度を高め、施設の新たな役割を示します。
2年目以降	①利用者の拡大と定着 ②情報発信の継続	継続的な事業実施や情報発信によって、施設利用者の拡大と定着を図ります。またこれまでの広報宣伝の効果を検証することで、より効果的な手段を検討し実践します。

(2) 広報宣伝の手法

想定される広報宣伝の具体的手法は以下のとおりです。

【広報宣伝手法の想定】

- ・ 自主事業の実施（プレ事業、開館記念事業）
- ・ 愛称募集の実施
- ・ 利用者説明会の実施
- ・ 既存のイベントや町の広報媒体の活用
- ・ メディアへの広告掲載・情報提供
- ・ 広報宣伝動画の制作・配信
- ・ 情報誌の発行
- ・ ホームページ、SNS等の活用
- ・ パンフレット、ポスター、チラシ等の作成・掲出
- ・ 上記各手法への町民の協力、協働

(3) 開館に向けたスケジュール

(1)で定めた年次目標の達成に向けて、令和8年度の開館までの広報宣伝スケジュールの目安を以下に示します。なお、いずれの取り組みも設計・建設のスケジュール等に応じてその要否と適切な実施時期を今後決定するものとします。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
プレ事業		▶		開 館	
開館記念事業					▶
愛称募集		▶			
利用者説明会			▶		
施設予約開始					▶
既存媒体、メディアの活用	▶				▶
情報誌の発行					▶
インターネット活用	▶				▶
施設パンフレット等配布			▶		▶
町民協働による情報発信		▶			▶

6 収支計画

(1) 基本的な考え方

新たな文化的施設は、これまでより規模の大きなホールを有する施設を新設すること、また既存の生涯学習事業に加えて新たな自主文化事業の実施を予定していることなどから、その管理運営には多くの費用を要することが想定されます。一方で、町民が使いやすい料金で施設を貸し出したり、参加しやすい料金で事業を実施したりする必要のあることから、その使用料や入場料だけで支出を上回る収入を得ることは難しく、収支比率は低くならざるを得ません。

したがって、新たな文化的施設においては、以下のような取り組みによって費用対効果の高い施設運営を目指すことが重要です。公共施設としての役割を全うしながら、施設の目指す姿である「世代を問わずだれもが気軽に文化芸術にふれ、楽しみ、活動できる空間」となるよう、適正な管理運営に努めます。

<収支改善に向けた取り組みの例>

収入向上施策
<ul style="list-style-type: none">・適正な使用料体系の設定・利用者のニーズに即したサポート等による貸館事業の推進、稼働率の向上・入場料、参加費等の収入向上に繋がる魅力的な自主事業展開・自主事業における各種助成制度の活用
支出節減施策
<ul style="list-style-type: none">・維持管理費の適切な管理や目標設定・設備の細やかな管理による予防保全・事業内容の振り返りに基づく事業費支出の精査

(2) 文化施設の収支構造

一般的な文化施設の主な収入と支出の項目は下表のとおりです。

特に事業費については、収支比率の全国平均はおおよそ 50%とされており、また茨城県内で見ても全国平均と同程度の比率となっています。今後、具体的な自主事業内容の検討を進めるにあたっては、収支の試算を重ね、適切な予算策定を行います。

<維持管理および貸館に係る主な収支項目>

収入		支出	
項目	内容	項目	内容
使用料収入	施設の使用料、備品・設備の使用料など	人件費	職員給与など
その他収入	チケット販売受託手数料、自動販売機設置手数料など	委託費	設備の点検、清掃、警備、舞台技術員委託料などの費用
		光熱水費	電気、水道、ガスなどの使用料
		事務費	通信費、印刷製本費、消耗品費など
		修繕費	故障、老朽化などに伴う修繕・更新費

<自主事業に係る主な収支項目>

収入		支出	
項目	内容	項目	内容
入場料収入	チケット代、参加費など	出演料・委託料	出演者、講師等に支払う費用
助成金・補助金収入	国や財団等からの文化事業への助成・補助	舞台費	台本、演出、技術、大道具、衣装などの費用
広告料	公演プログラム、チラシ等への広告の掲載料	広報宣伝・印刷製本費	TV・新聞等への広告費やチケット・チラシ等の作成費
		その他	著作権料、保険料、事務費など

(参考)

自主事業における収支比率(入場料収入額/支出額)	
全国(1177館)	51.9%
関東甲信越静(364館)	52.7%
茨城県(25館)	49.7%

出典:(公社)全国公立文化施設協会 平成26年度全国調査集計表

Ⅲ 開館までのスケジュール

茨城町新たな文化的施設の開館までのスケジュールは次のとおりです。

令和8年度の供用開始に向けて、令和6年度以降は町民と共にプレイベントを企画・実施するほか、開館後の円滑な管理運営を見据えた準備を進めます。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
設計・建設	実施設計	新築工事	お披露目式典	供用開始
自主事業	リージョナルシアター事業	プレイベント企画・実施		開館記念事業
開館準備	管理運営計画策定	使用規則、組織、広報等の検討・実施	習熟	

IV 参考資料

1 新たな文化的施設を考える町民ワークショップの開催状況

「茨城町新たな文化的施設管理運営計画」の策定にあたっては、以下のとおり町民ワークショップを開催しました。

<「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」開催概要>

	日程	会場	参加者数	テーマ
第1回	令和4年 5月18日	本庁舎 会議室	17名	茨城町のじまん・ふまん 施設のコンセプトを考えよう
第2回	令和4年 6月17日	本庁舎 会議室	15名	施設に必要な機能を考えよう
第3回	令和4年 7月29日	ゆうゆう館 会議室	13名	諸室(様々な活動の部屋)について考える
第4回	令和4年 8月19日	本庁舎 会議室	10名	ホール・共用ロビーについて考える
高校生 ワークショップ	令和4年 8月19日	本庁舎 会議室	21名	新たな文化的施設の使い方を考えよう
第5回	令和4年 9月20日	本庁舎 会議室	10名	これまでの検討のまとめ
第6回	令和4年 12月14日	本庁舎 会議室	21名	年間カレンダーをつくろう
第7回	令和5年 2月15日	ゆうゆう館 会議室	17名	まちに飛び出す・まちに広げる
第8回	令和5年 4月26日	本庁舎 会議室	17名	プレ事業・開館記念事業について考えよう
第9回	令和5年 6月14日	本庁舎 会議室	15名	施設の利用ルールを考えよう
第10回	令和5年 8月30日	本庁舎 会議室	15名	施設のアピール方法と町民参加について 考えよう

第1回ワークショップ 「茨城町のじまん・ふまん」 「施設のコンセプト」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップニュースレター

いいい、いしば
みんなであつくりろ茨城町！

令和4年5月18日（水）、第1回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催し、総勢17名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは、「茨城町のじまん・ふまん」施設のコンセプトを考えよう」の2本立て。はじめに、国や町の文化政策や、他自治体の文化施設の事例紹介を行いました。

グループワークでは、茨城町やまちの文化に関するじまん・ふまんを基に、新しい文化施設で重視したいコンセプトを話し合っていたきました。

グループワークの後は、各チームで話し合った内容を発表いただきました。

現在、茨城町では新たな文化的施設の整備事業を進めております。本ワークショップは、町民の皆さんから施設の使い方や導入する機能などについてご意見を広くいただくことを目的としています。

第1号

各チームの発表内容（一部抜粋）

かぶとチーム



コンセプト

- ・世代を超えて集まれる、全ての年代に開かれた場所
- ・歴史や伝統文化を継承する、定期的に発表できる
- ・子どもたちが遊んだり集まれる場所
- ・アマチュアの方でも気軽に発表できるスペース
- ・機会やきっかけが得られる、文化やアートに触れられる

かしわもちチーム



じまん ふまん

- ・自然と食べ物がまちのじまん ・お祭り好きが多い
- ・町内のつながりが減っている、PR 不足
- ・地域のまつりが減っている ・発表の機会が少ない

コンセプト

- ・自然と集まれる場所 ・ゆったりとくつろげる場所
- ・世代交流を兼ねて勉強が教えられる場所
- ・若者が集まれるように、壁などに絵を描く

こいのぼりチーム



じまん ふまん

- ・自然や食べ物が豊富 ・3世代で住む世帯が多い
- ・働く場所が少ない ・交通の便が悪い ・公園が少ない
- ・水戸市が近いため、イベントはそちらで開催してしまう
- ・若い世代が文化活動に参加してくれない

コンセプト

- ・世代間交流ができる施設
- ・施設に来るための移動手段の検討や利便性が重要

いずれのチームでも、まちの「自然」や「食べ物」はじまんでできる魅力で、それらを活かしたいという意見が挙がりました。また、「多世代交流」や「子ども・若者」、「子育て世代」など、お年寄りだけでなく若い世代も利用しやすい施設であることが、コンセプトとして重視したいポイントとして挙げられました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見

	じまん	ふまん
ま ち	自然/湖沼公園/オオワン	PR不足
	豊かな自然/ひぬまの自然がきれい/田んぼがきれい	水戸市・大洗町・笠間市・群山市・小美玉市一全区域に通用
	湖沼から見る太陽がしずむところを見るのが良い	地区によって便利が悪い場所と良いところがある
	映えるスポットが多い/キャンプができる/サイクリングに最適	移動販売のお店が欲しい/巡回バスがほしい/電車が走っていない(交通便が悪い)
	湖沼周辺の自然環境 ヒスマイトトンボ大わし	電車が無い/電車が通っていない(駅が無い)/車が無いと移動できない
	田んぼ道がとてもいい	自転車のレンタルがあればいい/交通が不便、車が以外/車がないと生活できない
	歴形船(あるけど使用されていない)	学区の端だと学校まで遠い。(スクールバスがない)/移動が不便
	湖沼(しじみ・水鳥・サイクリング)	交通渋滞が多い/道路なのでこぼれが多い/公共交通機関が少ない
	土地のロケーションが様々(水辺・里山・森・田んぼ・畑etc)	遊ぶ公園が少ない/湖沼自然公園にカフェがない(休めない)
	親沢公園・広浦公園、趣のある公園・キャンプ場	おしゃれな建物が少ない/おしゃれなカフェがない/カフェがない(集まらない)
ま ち の 文 化	水/野菜が美味しい。畑や田んぼをやっている人が多い	ファミレスがなくなっている/飲食店が少ない/商店が少ない
	湖沼のしじみ/メロン/くるりのおやか/水/いいぬま菓	町内で働く場所が少ない
	農産物生産量が多い/農作物、魚類が豊富	地味かな/保守的!/基本内向的
	野菜や果物がお安く手に入る。農協さんが多い。美味しい。	人と会う機会が少ない/人と集まる機会が少ない
	おやか屋さんが3つある	住所は長い
	隠れた名店がたくさんある	自然と集まることは減っている
	ひとがあたたかい/新しい人(地方出身者)を受け入れてくれる	町内のつながりが減っているらしい(昔に比べ)
	おまつり好きな人が多い	子世代で住んでいる家族が多い。
	地域によって文化の違いがあり聞けるのが楽しい	子育てしやすい(桜の郷)ほかの地域は不明・・・
	ワイヤーアートの作家さん	遺跡がたくさんあるがあまり知られていない
ま ち の 文 化	小規模(城マニアは好き)	町の文化財を見るところがない
	ハニワ かまあと日本1だけ知られていない	町民の写真や作品を日ごろからかざりたい/アート系のイベントがない
	若者が頑張っている(ハエルマーケット)	菓舗屋さんがない/ストリートピアノを置いてほしい
	昔は開港をするために60代、70代がゆうゆう館に集まっていた。お風呂無料で入れた	いばらきまつりの内容/地域のおまつりが減っている/障がい者の発表の機会が少ない/音楽の演奏会があるとうい
	9月の北火がたくさん打ちあがる。	発表は年齢寄りむき/文化活動に40代~50代しか入らない
	町のおまつりに3万人くらいくる	文化活動に40代~50代しか入らない/文化的なことに保守的
	あじさいまつり一乃株	文化的活動をもっと充実させたい/祭りが少ない
	地域で活動している、伝承されている芸	幼児が参加できる活動が少ない
	ダンス連盟の高齢者が多く、健康につながっている	年配の方向けのイベントが多く、子供向けのイベントが少ない
	温かな気候	インドアでウォーキングを楽しめる施設
コ ン セ プ ト	くつろげるおしゃれなカフェスペース/民泊(おじいさん、おばあさん)	合唱の練習場所がない/個展をする場所がほしい/展示機会などが少ない
	広浦のあらばさま	ギャラリーが無い/芸術祭がない/ワークショップ等の機会が少ない
	盆栽	飲食を伴う様なイベント、コンサートの場所
	町出身の芸術系の方が多く	カジュアルサロンコンサートができるような場所がほしい
		チャレンジショップみたいなものがあったら
		勉強するスペースをゆうゆう館以外にも増やしたい
コ ン セ プ ト	自然と集まる場所/平日から1日泊らせる場所	町民が発信できる場所/新しい視点で茨城町を自慢できる場
	用事がなくても来れる場所/ゆったりとくつろげる場所	子育て中の親子の交流ができる場所/子どもたちに目を向ける意識
	利用目的が違っても、同じ場所に集まる場所	子どもたちが遊んだり集まれる場所
	人が集まる場所づくり/町民が気軽に活用できる施設	子どもたちのための合宿国とか絵画教室などができるとよい
	年間を通して活発に使用できる、イベント・発表・展示	カフェがあるとよい/町のおいしいものが食べられる施設
	ガラス越しにイベントが見学できるとありがたい	茨城町の特産物が食べられる場所、マルシェ的な
	おじいちゃん、おばあちゃん達と料理したりあみものをしたりしたい。	ランチやお茶をする場所があればよい/おいしいものに囲まれて文化に触れる
	いろいろなイベントの開催/文化を創り、文化に触れる	世代間交流、勉強おしえあう/世代問わず楽しめる場所
	文化の芽をまく/文化の「顔」が見える場所	音楽など若者が気軽に発表/すべての年代にひらかれた場所
	ロビーコンサートができるとうれしい	受け継ぎたい歴史、自然/世代を超えて集まれる場所
アマチュアコンサートが気軽に催せる場所	伝統文化を継承するため、定期的にそれを発表できる場所	
魚や小動物のコーナーを施設に作っていただきたい		
自然に調和した建物/おしゃれな壁空間		
学校ごとに発表できる場所を作ってはどうか、月ごとに		
コンサートや劇を見る場所/音楽が良いホール		

次回予告!

第2回のワークショップのテーマは、「施設に必要な機能を考えよう」です。新たな文化的施設でやってみたいこと、行ってみたいイベントについて考え、今回の「コンセプト」をふまえ、施設に必要な機能を考えます! ニュースレター第2号の発行日は7月14日を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先: 029-297-3221 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第2回ワークショップ 「施設に必要な 機能を考えよう」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップユニースレター

いいい、いーば
みんなで作ろう茨城町

第2号

令和4年6月17日（金）、第2回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催し、総勢15名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは、「施設に必要な機能を考えよう」。前回のふりかえりや、他自治体の文化施設での様々なイベント・利用のされ方について事例紹介を行いました。

グループワークでは、新たな文化施設でやりたいイベント・活動を考え、そのために施設に必要な機能・設備を話し合っていました。

グループワークの後は、各チームで話し合った内容を発表いただきました。現在、茨城町では新たな文化的施設の整備事業を進めております。本ワークショップは、町民の皆さんから施設の使い方や導入する機能などについてご意見を広くいただきましたことを目的としています。

各チームが考えた施設に必要な機能（発表より）

ひまわりチーム



- ホール**
 - 発表会、講演会、音楽会、サークル練習など
 - 器具や道具をしまう倉庫が必要
- スタジオ**
 - 人数や用途によって部屋が選べるとよい
- フリースペース**
 - 交流できる、勉強を教えてくれる、保護者が休めるなど
 - Wi-Fiや電源、夜遅くまでやっているカフェ
 - 使いやすい展示スペース ・ 託児スペース
- 広場**
 - マルシェ ・ 天候に左右されないよう屋根つきが良い
 - 茨城町のお土産が買える売店

ふうりんチーム



- ホール**
 - 合唱祭 ・ 体操教室やダンスなど：平土間
 - 規模に応じて客席数が変えられるとよい
- スタジオ**
 - 映画鑑賞、写真展：活動の様子が外から見るとよい
- フリースペース**
 - ストリートピアノ：使われていないピアノを活用
 - 子どもが絵を描ける壁 ・ 昔ゆうゆう館にあった売店
 - 日替わりや週替わりで出店できるカフェ
- 広場**
 - 子どもが遊べる場所 ・ 自然と触れ合える場所
 - フリースペースと一体利用 ・ 仕事帰りにぼーっと過ごせる

アイスチーム



- ホール**
 - 音楽やダンスなどの発表会
 - 300席くらいの客席、反響板、最先端の器具
- スタジオ**
 - 練習、会議、研修など ・ 鏡張りの壁
- フリースペース**
 - カフェがあると人が集まる
 - 子どもや赤ちゃんの交流会：床材を工夫する
 - 歴史などの展示スペース
- 広場**
 - 野外コンサート ・ ビオトープ、涸沼の生き物を展示
 - 公園や遊具 ・ 犬猫の譲渡会：屋根つきが良い

各チームさまざまな意見が挙がりましたが、特にフリースペースに関しては、前回のワークショップでも重視されていた「交流機能」や、「飲食ができる場所」が欲しいという意見が多く挙がりました。広場はイベント利用のほか、「自然が体験できる」、「子どもが遊べる」場所という意見が多く挙がりました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

第3回ワークショップ 「諸室(様々な活動の部屋) について考える」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップニュースレター
いいい、いしば
みんなで作ろう茨城町

第3号

令和4年7月29日(金)、第3回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催し、総勢13名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは、「諸室(様々な活動の部屋)について考える」。はじめに前回のふりかえりや、他自治体の文化施設の諸室や、その使われ方について事例紹介を行いました。

グループワークでは、まず諸室でやりたいこと、次にそのために必要な設備や広さを考え、部屋やスペースに名前を付けていただきました。

グループワークの後は、各チームで話し合った内容を発表いただきました。本ワークショップも第3回目となり、施設構成に関わる、より具体的な内容になってきました。

いただいたご意見を参考に、住民ニーズに沿った施設となるよう施設整備を進めていきます。

各チームが考えた諸室とその使い方(発表より)

すいかチーム



- スタジオ** ・各種教室、クラブ活動(料理やヨガなど)
・囲碁将棋 ・ボルダリング
- 多目的スペース** ・町や文化クラブの展示や発表の場
・赤ちゃん交流会、子どもが遊ぶ様子を見られる場所
- 大会議室** ・研究発表ができる ・文化協会の発表会
- サポートスペース** ・赤ちゃん休憩室 ・おむつ替えのためのスペース
・ホール発表のための着替えができる

かき氷チーム



- プラクティスルーム** ・大人から小中学生まで練習ができる部屋
- クッキングダイニング** ・調理や食べるスペース
・理科の実験
- キッズルーム** ・ハロウィンやクリスマスなどのイベント
- リラクゼーションルーム** ・活動や地域のことを情報交換できる場所
- ギャラリーアート** ・ワークショップや展示(町で活動する芸術家)
- ミーティングルーム** ・勉強会
・手話サークルなど
- トレーニングルーム** ・ヨガなどのトレーニング
・シャワーや着替え
- ジャパニーズルーム** ・生け花、着物、茶道
・外のピオトープを眺める

朝顔チーム



- 音楽ダンス** ・音楽やコーラス、ダンスの練習
・小～中規模の部屋
- 発表** ・50人規模で小規模な発表ができる場所
- フリースペース** ・料理教室
・各種教室(書道や手芸など)
- 子ども** ・子どもが遊べる場所
・外から見える場所
- 展示室 会議室 映像** ・写真などの作品を展示
・茨城町の歴史を展示
・会議室としても活用
- (和室)** ・和室は利用が少ない
・移動式の畳などで対応

スタジオや練習室のような文化的活動のための部屋や、会議室、展示室などのご意見は、いずれのグループからも意見が挙がりました。その他、子どものための部屋・スペースや、ひとつの部屋に様々な用途を持たせる「重ねづかい」をすることで、部屋を有効活用するアイデアも挙げられました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています!

グループワークでのご意見			
部屋名	活動や使い方	そのための機能など	
音楽・ダンス	音楽の練習スタジオ (5~6人位)	防音壁	練習室
	練習スタジオ (音楽) ・ (1~5人) ・ 小	防音・諸面が置ける・楽器スタンド・個人でも入れる	
	コーラスの練習場所12人~	音響設備	
	楽器を使って表現するサークル	防音設備・ピアノ	
	ダンスなどに使う所・15人~ (中~大)	防音設備・楽器演奏の場所	
プラクティス ルーム	体を使った表現をするサークル・ダンス・軽運動	床の弾性・身体を揺する/弾力のある床 (ダンス)	
	歌・音楽の練習が出来る部屋 (大人・小学生・中学生)	防音・外から見えると良い 社交ダンスの練習にふさわしい床・鏡・バー/鏡 ピアノ/ドラムセット/キーボード・色々な音やリズムが出る	
スタジオ	いろいろな教室・ワークショップ	入り口で靴が脱げるスペース (はだしOKの床)	
	料理教室。海外の方との交流/調理系ワークショップ/イクババの料理教室	調理器具が充実している	
	普段つくらないレシピ・健康食	ちょっとした会議室・30~40㎡	
	ヨガクラブ・教室/園芸・将棋教室		
発表 (ダンス)	合唱の練習/ホール・発表のためのリハーサル		発表
	ポルカやトランポリンなど特別なものがある		
多目的スペース	コーラスの小さな発表会をする場所・50人位の席数	多目的ホール	多目的
	合唱団・中学校小学校/演劇・ダンス		
	町の文化的財産の展示 (常設)	お湯が出る・お湯が湧かせる	
	フリースペースコンサート/廃校のピアノを利用したロビーコンサート	会場・~30人で80㎡~	
	文化クラブの活動が目につく発表の場	壁についている棚	
	人とコミュニケーションが取れる場所	防音+エアコンの部屋・ピアノ・窓から中が見えるつくりのピアノのある部屋	
	親と子が一緒に遊べる所・三世代	観覧の壁/パレエバー	
	おもちゃ・積み木などがあるスペース	延長コード	
	赤ちゃん交流会	オーディオ機器	
	子供が遊んでいる様子が見渡せると安心	ガラス張りのスペースで多くの人の目に留まるようにする	
習い事・教室系 (料理)	どにかく広いスペース・区切ることのできる場所	仕切りの無い広いスペース	料理
	料理教室 (20名位)	置き費のある場所/おもちゃ・絵本など染しめるものを置く	
クッキング & ダイニング	調理実習できる所	熱湯・水道・排水・設備の整った空間	習い事
	調理体験 (?人)	什器類・冷凍冷蔵庫	
習い事・教室系 (それ以外)	絵を描いたり習字などをする所	調理して食べるおしやれなスペース/飲食室	習い事
	フラワー関連・花教室 (10~15人)	水道・排水	
	手芸教室 (10~15人) ワークショップ	水場・大きなテーブル・防水?	
ギャラリー・ アート	物を作りだすサークル (工芸・絵画)	水桶・大きなテーブル (高さ調節可)・傷つかないテーブル	展示
	ワークショップ	電力確保・道具の収納・水回り	
子ども	工作ルーム・アートルーム	展示室・文化財展示/町内出身者の展示室 (準准先生など)	子ども
	三世代共通スペース (子どもが遊べる・外から見える)	見える部屋	
サポートスペース	赤ちゃん体検定/おむつ換えのスペース	3Dプリンター	子ども
	ホール発表のための着替え		
キッズルーム	靴を脱いで子供たちが遊べる空間	手洗いがついている楽屋	子ども
	キッズが集まってハロウィン・クリスマス等イベントが出来る場	ハンガーがかけられる何か	
展示and会議室	子供の様子	綺麗な床・差れる広さ/やわらかい床・仕切れるスペース	会議
	写真展などの展示・20人/展示などをする場所/作品発表スペース	子育てサークル等親子でリトミック等を楽しめる部屋・靴を脱げる柔らかい床	
大会議室	写真展などの展示・20人/展示などをする場所/作品発表スペース	TV (インターネットにつなげる) や音響設備があると良い	会議
	茨城町の歴史スペース	移動可能なパネル	
ミーティング ルーム	研究発表・講演	スクリーンの設置/視聴覚設備	ミーティング ルーム
	文化協会の発表会 (※次回)	音楽やダンスなどの発表が出来る大ホール	
映像	勉強会	テーブル・椅子/座りやすい椅子・テーブル (会議室用)	映像
	手話サークル (10~20人)	スクリーンが欲しい/スクリーン・プロジェクター・テーブル・椅子	
ジャバニーズ ルーム	映画鑑賞 (5~10人) /映像	タブレット等を持ち込んで会議が出来る部屋 (wifiがあるといい)	ジャバニーズ ルーム
	生花・着物・日本舞踊など楽しめる部屋 (ゆゆう館でも可)	スタディールーム・大人が子供と学習できるスペース	
和室	和室・お茶の練習	プロジェクター・白い壁・暗幕	和室
	和室が必要なサークル	テラスにピストープ	
リラクゼーション ルーム	ヨガ・やわらかい床・着替えるスペース/シャワー付き・マッサージチェア	和の空間・簡潔的な	リラクゼーション ルーム
	情報交換	必要な環境・折りたたみ移動できる装置	
その他	カフェスペース (飲食業者) ・Jazzコンサートやピアノリサイタルができる	必要環境・折りたたみ移動できる装置	その他
	暖炉を囲んでお茶できる/団らんルーム/くつろぎの部屋・リラクゼーションチェア	コンピュタータブレットの設置	

次回予告!

第4回のワークショップのテーマは、「ホール・共用空間の使い方を考えよう」です。新しい文化的施設のに設けるホールについて、さまざまな使い方を考えていただきます! ニュースレター第4号の発行日は9月8日(木)を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。
詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先: 029-297-3221 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第4回ワークショップ 「ホール・共用ロビー について考える」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップユニースレター

いよいよ、いよいよ
みんなで作ろう茨城町！

第4号

令和4年8月19日（金）、第4回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催し、10名の方にご参加いただきました。今回のテーマは、「ホール・共用ロビーについて考える」。はじめに、前回のふりかえり、ホールや共用空間の使われ方に関する事例紹介をしました。グループワークでは、ホール・共用ロビーそれぞれでどんな活動がしたいか、そのために必要な機能や設備について考えていただきました。これまでのワークショップを通して、新たな文化的施設でやりたい事、諸室やホール、共用ロビーに必要な機能・設備など、様々な意見をいただき、「施設に求めているもの」が見えてきました。ワークショップは次回で最終回となりますので、これまでの検討を振り返りながら総まとめを行ってまいります。

各チームが考えたホール・共用ロビーの使い方（発表より）



太陽チーム



ホール

- <客席形式>
- ・音楽発表会などの成果発表会
 - ・コンサート、演劇、吹奏楽、コーラス、映画上映など
 - ・ビブリオバトル ・e-sportsの大会
- <平土間形式>
- ・展示イベント、子どもたちの作品展示 ・物産展

共用ロビー

- ・カフェラウンジ ・癒される空間、くつろぎのスペース
- ・展示、アーティストインレジデンス等で制作した作品
- ・フリーマーケット、大道芸、名画座などのイベント
- ・ミニコンサートができるスペース ・多目的スペース
- ・世界の民族文化を取り入れたイベント
- ・トイレにベビーベッドや授乳室、子ども専用トイレ設置
- ・トイレの出入口は2箇所、清潔なトイレが良い



花火チーム



ホール

- <客席形式>
- ・合唱、吹奏楽、文化行事、ダンスなどの発表
 - ・劇、映画、音楽鑑賞
- <平土間形式>
- ・トランポリン、ミニ運動会、子どもが裸足で走れる場所
 - ・マルシェなどの販売イベント、パッチワークの展示会
 - ・災害時の避難場所としての活用
- <その他>
- ・楽屋を会議利用などにも開放 ・バリアフリーな搬入口

共用ロビー

- ・展示（写真、絵画、手芸、町の文化財産など）
- ・映像投影 ・フリーマーケット、マルシェ
- ・本の読み聞かせ、紙芝居 ・雰囲気の良い空間
- ・ゆっくり過ごすことができる空間 ・倉庫の充実
- ・障がい者に優しいトイレ ・非接触の扉があるトイレ
- ・着替えブースや着替え台がある ・トイレ個数は多めに

ホールに関しては、客席形式・平土間形式のそれぞれで、音楽や演劇の発表、展示や販売系のイベントなど、様々な使い方の提案が挙がりました。共用ロビーに関しても、日常的にゆったりくつろげる空間であるほか、展示会やマルシェ、音楽イベントなど簡単な催しも行いたいという意見が多く挙げられました。 >>> 裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見

	こんな活動・使い方がしたい	そのためには…
ホール	発表 <ul style="list-style-type: none"> 音楽発表会／吹奏楽発表／コーラス発表 コンサート・演奏会・演劇・歌やサークル活動の発表 成果発表会。全町民対象 or グループ対象／文化的行事の発表 合唱コンクール・学生・社会人／合唱コンクール ダンスの発表／吹奏楽演奏会 	<ul style="list-style-type: none"> 500席くらいの客席／つりさげ？大きいものあり 舞台装置設置（照明、スクリーン、プロジェクションマッピング対応） 照明・音響設備・その他必要なもの／最先端の器具・スクリーン・投影機・パソコン／映画上映に必要なもの 観客数に応じて可変できる床の材質・音響効果 音がハウリングしないこと（マイク）／反響板の設置 床：滑りにくい・傷つけにくい・表面が柔らかい／リハーサル室は掃除しやすい床 舞台ステージとバンドがともに設営できる／50人くらいのスペース（舞台上） 壁面鏡とつかまるバー（ダンスの人）／器具や道具をしまう倉庫 書店、出版社、図書館など本にかかわる人々の力を借りる
	鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> 講演・公演 劇の観賞／音楽鑑賞／演劇の地方公演 映画上映会／映画鑑賞 ビブリオバトル・本の紹介バトル e-sports ができる場所 	
	平土間 <ul style="list-style-type: none"> 展示／物産展／物産展 マルシェなど販売／パッチワーク 子ども達の発表会・展示／子ども達向けのイベント トランポリン／ミニ運動会／裸足で走れるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 可変できる 展示の手間を省く仕掛け 案に展示できるような展示用の備品
	その他 楽屋 搬入 運営 <ul style="list-style-type: none"> 楽屋は表からでも裏からでも入れる仕様 スケジュールを見て予約制で使える。仕事や勉強ができる部屋（wi-fiがあると良い） （裏口）は入口にバリアフリーのような板もしくは平らにする 搬入口は車で入っていける仕様（いつでも車で入れる）。人が常に通る場所じゃない ホール・活動・時間・価格／各分野の担当者を設けて企画の取りまとめを行う 災害時の避難所 	

	こんな活動・使い方がしたい	そのためには…
共用ロビー	イベント <ul style="list-style-type: none"> 展示会（ちょっとしたもの）写真・絵・手芸／作品展示／絵や花等の展示 町の文化的財産の展示・溜沼のしじみ・ヒノマイトトンボ等・歴史的財産・ハニワ展示・ラムサール関連 アーティストレジデンス等で作った作家の作品の展示（他国から作家を呼ぶことでつながりが生まれる） ロビーフリーマーケット／フリーマーケット 出張名画展 映像を壁に映したい（モニター要らず）PVとかチームラボとか ミニコンサートができるスペース 世界の民俗文化の発表会（音楽・芸能・美術・ダンスなど。テーマに基づいた各国の文化も紹介） 絵本の読み聞かせ・紙芝居 多目的スペース ・大道芸人の集い！！大会 	<ul style="list-style-type: none"> 展示用の什器もしくは壁に備え付けのフック等、テーブル… 文化庁に相談する マルシェ台・WS でみんなで作る 共用ロビー誰が弾いてもよいピアノを置く 国際系大学の教授、生徒、各国の文化の識者にプロデュースを依頼し、町全体で動かしていく 絵本・常設 移動可能なテーブル・イス
	カフェ <ul style="list-style-type: none"> カフェなどの併設／カフェ・ラウンジ 子どものミルク・保護者のお茶 若者のカップラーメン 	<ul style="list-style-type: none"> ドリンクを出す業者・テーブル・イス（おしゃれな） お湯と冷たい水が出るウォーターサーバー
	憩い <ul style="list-style-type: none"> 癒される安らぎの空間 ロビー・くつろげるスペース 2F？人の動きを見ながらお茶が飲みたい（開放的な場所） 	<ul style="list-style-type: none"> 豪華なふかふかソファと yogibo 観葉植物や人工の水の流れをつくる 無駄なスペースにおしゃれな家具／インスタ映えするオブジェ（大きい像など） ハンモック／おしゃれなイス・すわりやすいイス（雰囲気）
	その他 トイレ <ul style="list-style-type: none"> 障がい者に優しいトイレ／・トイレ・広い・ドアを開けたい・着替えブース・個室多め おむつ替え用のベッド／授乳室／子ども用トイレ ・着替えができるトイレ／着替え台があると着替えが楽 トイレの出口は（入口）2か所あった方が良く／入口出口2か所あるトイレ 化粧室があるトイレ／ホテルみたいなきれいなトイレ／広いトイレ 	

次回予告！

第5回のワークショップのテーマは、「これまでの検討のまとめ」です。基本設計で最後のワークショップとして、簡単な図面を見ながら、今までの検討内容の振り返りや総まとめを行います！ニュースレター第5号の発行日は10月13日（木）を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：029-297-3221 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



新たな文化的施設を考える 高校生ワークショップ



「新たな文化的施設の使い方を考えよう」

開催内容

これまでの町民ワークショップに加え、幅広い世代に意見を頂くため、令和4年8月19日（金）に高校生ワークショップを開催し、県立茨城東高等学校から、総勢21名の生徒にご参加いただきました。

ワークショップのテーマをもとに、より魅力的な施設とするには何が必要か、また、高校生の皆さんにとって日常的に使いたくなる施設とするためにはどうしたらよいか、4グループに分かれて話し合いを行いました。発表の中では、ホールで音楽や映像イベントの開催、屋外で飲食イベントの開催、みんなで学習できるスペースなどの意見がありました。また一方で、ゲームをする場やインターネット環境の整備など「ひとりでくつろげる場」も必要であるなど、イマドキの感性を持つ高校生ならではの意見が多くありました。今後は頂いた意見を参考に施設整備を進めてまいります。

各チームが考えた新施設の使い方、高校生が日常的に訪れる施設とするためのアイデア

たこ焼きチーム



- ・音楽イベントや映像イベント
- ・コスプレやアニメなどのイベント
- ・カラオケなどができる防音室
- ・猫カフェ、動物とのふれあい
- ・電源やソファがあるフリースペース
- ・みんなで勉強会
- ・食に関するイベントができる広場



りんご飴チーム



- ・季節に合わせたパーティや発表会
- ・スマホやYouTube、e-sportsに関する教室
- ・昔の遊び、今の遊び
- ・みんなでくつろげる空間
- ・屋外でスポーツができる場所

わたがしチーム



- ・e-sportsなどの大会
- ・書道、将棋、料理などの教室
- ・仮眠やストレス発散ができる場所
- ・ゲームなどの娯楽やインターネット環境の整備
- ・屋外には公園や、運動できる場所



金魚すくいチーム



- ・映画鑑賞、音楽鑑賞
- ・e-sportsやカードゲームのイベント
- ・一人になれる場所（読書やカラオケ）
- ・友達とボードゲームやTVゲーム
- ・みんなで勉強できるスペース
- ・屋外でスポーツなどのイベント
- ・子どもが遊べる遊具、すべり台など

新たな文化的施設の概要について、茨城町のホームページに掲載しています。

詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：029-297-3221

〒311-3192茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地

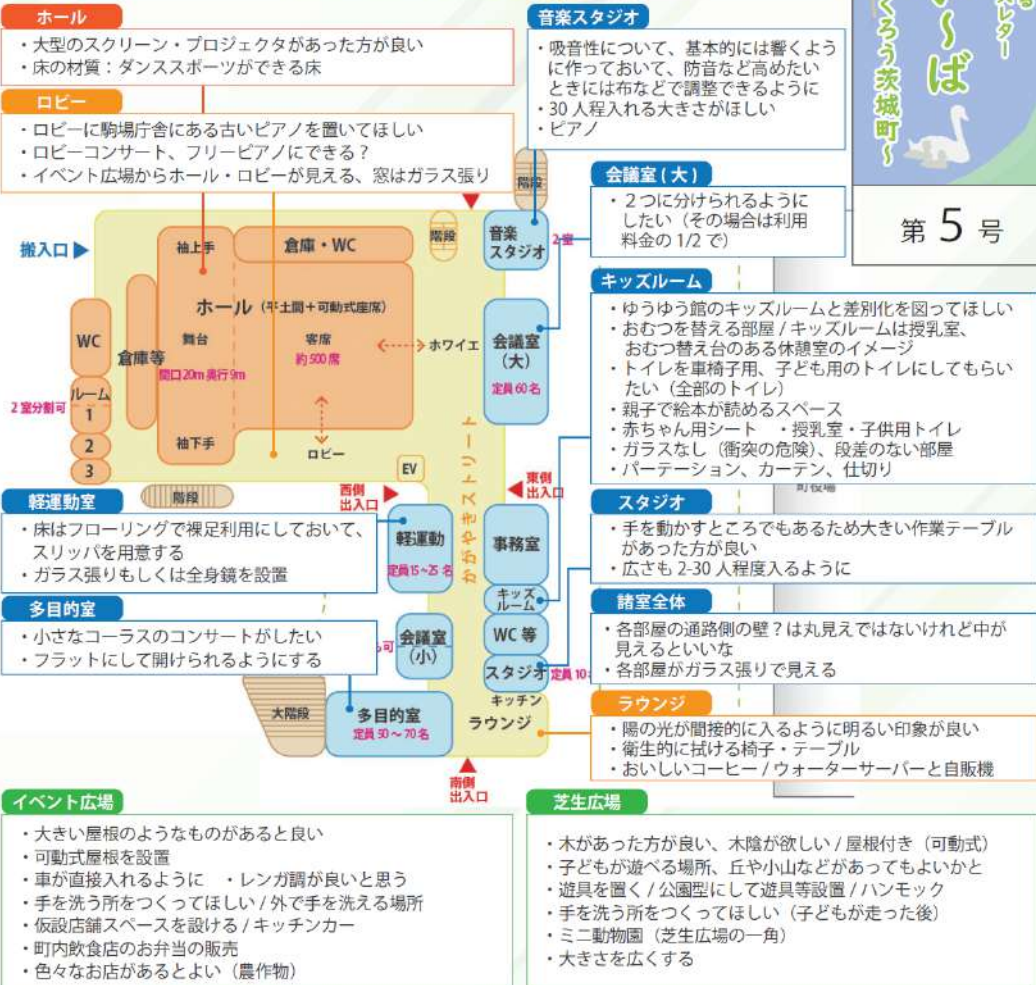
茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第5回ワークショップ 「これまでの検討のまとめ」

令和4年9月20日(火)、第5回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催し、10名の方にご参加いただきました。これまでの意見を反映させたブロックプランが完成しました。(下図参照)

グループワークでのご意見



※ブロックプランの内容・各部屋の配置や定員数に関しては、これまでのワークショップで出たご意見を反映したものです。

裏面ではグループ発表の内容を紹介しています！

新しい文化的施設を考える
町民ワークショップメニュースレター
みんなであつくりよう茨城町

第5号

各チームの発表内容



室内

- ・多目的室：小規模なコンサート、開放的な使い方
- ・スタジオ：使い方が分からない、もう少し広い方が良い
- ・キッズルーム：子どもが休憩する部屋、授乳室、ゆうゆう館のキッズルームとの差別化
- ・トイレ：車椅子用、子ども用
- ・軽運動室：フローリング、上足利用、ガラス・鏡張り
- ・会議室：パーティションなど、可変的に利用したい
- ・音楽スタジオ：吸音、大人数でも使える部屋にしたい
- ・ホール：映像が流せる設備
- ・中でどんな活動をしているか分かるような壁

屋外

- ・イベント広場：屋根を設置、レンガ調の床、車が入れる
- ・大階段：人が座れる、広場からホールが見える
- ・芝生広場：使い方が広がるとよい、子どもが遊べる場所、丘・遊具・水場などを設置
- ・テラス：屋根やベンチ、雨天時にも利用できると良い

その他

- ・共用部は参加者や町民から名前を募集したら良い
- ・部屋は、使い方を限定しないような名前としたい



室内

- ・キッチンラウンジ：自由にお店を出せる、弁当の販売ができるなど、どの程度の対応とするか検討が必要
- ・全館でバリアフリー対応してほしい
- ・多目的トイレの設置
- ・授乳室や子ども用トイレ、角が柔らかい素材
- ・冷暖房が付いていること

屋外

- ・手や足を洗う場所がほしい
- ・芝生広場には動物園、ハンモック広場があると良い

その他

- ・水害の際に耐えられる高さに立地しているか

室内に関しては、部屋や共用部分の開放的な使い方や、バリアフリー・親子連れでの利用に対応した使い方についてのご意見を多く頂きました。屋外には手足を洗える水場や、屋根付きの場所が欲しいという意見が多く挙がりました。その他、諸室の名称や表示サインについてなど、幅広い意見がありました。

ご参加いただきありがとうございました！

施設の機能や諸室構成に関するワークショップは、今回をもって終了といたします。町民ワークショップに参加された皆さま、ありがとうございました。今回のワークショップでいただいた様々な意見を参考に、施設の設計を進めていきます。

また今後、管理や運営面に関する町民ワークショップを開催していく予定です。そちらのワークショップについても、引き続きニュースレター等でお知らせしていく予定ですので、ぜひご覧ください。



ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。
詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：029-297-3221 〒311-3192 茨城県茨城郡茨城町大字小堤1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第6回ワークショップ 「年間カレンダーをつくらう」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップニュースレター
いいい、いしば
みんなでつくろう茨城町

第6号

令和4年12月14日（水）、第6回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催しました。今回から茨城県立茨城東高等学校の生徒にも多数参加していただき、計21名、大人から高校生まで幅広い年代で意見交換することができました。これまでのワークショップでは、主に施設についてご意見をいただき、参考にしながら基本設計を取りまとめました。そして、今からは施設の管理運営について検討する「施設の運営方法編」としてワークショップをスタートし、今回は、「年間カレンダーをつくらう」をテーマに実施しました。事例紹介を行ったのち、グループワークでは、新たな文化的施設でやってみたい・やってほしいイベントをいつ、どのエリアでやるのが効果的かを話し合っていました。

各チームが考えたやってみたいこと・やってほしいこと（発表より）

雪だるまチーム



屋外エリア

- イルミネーションを設置し、町を明るくする

様々な人が参加できる大会

- トレーディングカードゲーム大会、ボードゲーム大会、オセロ大会

世代間交流

- 若者と大人で話し合いをしながら計画を進めたい

町民の力でつくって発信

- 町をテーマにしたワークショップ、町のクリエイティブ講座

おでんチーム



ホールエリア

- 町主導で季節ごとのイベントを大々的に行う

諸室エリア

- 料理の体験教室など誰もが参加できる教室を通年で行う

交流できるイベント

- カラオケ大会、合唱大会など交流できるイベント

町内外で参加してもらえるイベント

- スポーツフェスティバル、フードフェスティバル

農産物が豊富な土地を活かす

- 収穫祭や特産品の物産展

みかんチーム



ホールエリア

- 季節のイベント、発表は秋・冬に集中（音楽系コンサート、町民祭の発表、ピアノ発表、幼稚園保育園の発表会、クリスマスコンサートなど）

諸室エリア

- 年間を通して使う場所、サークル活動を通年で行う

若い世代のイベント

- 気軽に施設を使えて、気軽におしゃべりができる場があると良い、ライブビューイング、チームラボ

各チームでも、季節ごとのイベントを実施したいという意見が挙がりました。また、諸室エリアは、季節を問わず通年で活動を行う場であってほしいという意見が多く挙げられました。高校生も多数参加していたことから、若者向けのイベントや世代間交流といった視点からの意見も多くみられました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見

ホールエリア	諸室エリア	共用エリア	屋外エリア
歴史会 盆球大会 町の生活誌、町で暮らす人々の生い立ちを聞き取りしてまとめる展示をする いば3のイベント 冊子の発行!! ひな祭り 秋画 春のネットトラブル講座 トラブル防止 交通安全教室 ディベート大会 ゆるキャラ祭り ファッションショー 町民ファッションショー クイズ大会 ラップ イェイ バスケ大会 カラオケ大会 夏の水々体験(お化け屋敷) 怪談 怖いやつ 文化協会講演会 音楽発表コンサート 文化祭 音楽鑑賞 文化祭みたいなおこと 読書会 ビデオバトル であっかい!!オセロ大会 ハロウィンパーティー ハロウィンパーティー クリスマスコンサート 大人×学生トークショー 部活 ワラントダウンパーティー クリスマスパティー クリスマスパティー ヒアリング発表会 発表 得意発表 劇団の地方公演 コンサート 映画鑑賞 夜祭 歌舞伎 チームラボみたいな映像系 ライブミュージック 子どものイベント 御本家を呼んだワークショップ 近代開文流に関する行事をしてほしい 昔の遊び、今の遊びを三世代で交流する会 音楽発表会 ミュージカル 町民演劇!! @スポーツの年間大会 ダンスフェスティバル Dance(劇) 若い世代の(D)代主権)イベント 高校生が主催する会(大人が) ゴミ拾い 大人を休ませる期間 コスプレやアニメに関するイベント 季節の行事をテーマにしたイベント(第3-4回) 例: ワーホリや節分、ひな祭りなどを現代にアップデートしたもの	マジックショー 大食い大会 和菓子作り 浮き輪作り 春のパン作り体験 浜ボールで何か作る トレーディングカード大会 お化け屋敷 夏祭体験(冷やし中華) スポーツ大会等のパブリックビューイング ボードゲーム大会 子供たちのための学力アップイベント そば打ち うどん打ち 秋の秋まきご飯作り グルメ大会 読書会 プラモ 美しく町の歴史を学ぶ でかいおせち作り かるた大会 かるた大会 縁作り ママサークルを作るような講座(託児つき) 育児サークル サークル活動 文化協会各サークルの研修 サークルの作品作り体験(マルシェに近い) 子供向け体験会の実施(サークル主催) レーザーカッター、UVプリンター等ものづくりワークショップ(メイカーズベース、fab cafe) コーヒーの淹れ方 町のクリエイティブ講座(デザイン、ホステター、チラシ) 料理・お菓子作りの体験 小学生の体験教室 小学生のダンス教室 マンガ喫茶が欲しい ラジオのサテライトスタジオ 町民の力をつなぐ 相談窓口(いじめなど) 受けている子供を一人でも多く助きたい) 手製本のワークショップ 町をテーマにした様々なワークショップ 子どもの描いた絵でグッズを作る 他市町村の人達にも買出し 合唱の練習 コンサート(合唱)をしたい	こどもの日に子供が楽しめるゲームや景品、食べ物など 春祭り さくら祭り イースターイベント・卵を採す・イースターの日限定の食品や商品の販売 夜だんにひな人形 何かのライトアップ 行燈とかLED 映画シアター系(ドライブインとかじゃないけど) コスプレ大会 ビンゴ大会(景品あり) あじさい祭り アジサイの飾りつけや、あじさいをイメージした和菓子などを楽しむ もみじ祭り もみじモチーフの和菓子や、飾りつけをする こたつパーティー 節分 もちつき ベッタシコ アーティストの展示 12人・月で入れ替え 施設を利用したアートイベント 町内より発掘・出土した土器等を展示し町民に知ってもらう 季節ごとの壁面アート(自由参加) 紙芝居 絵本の読み聞かせ トランポリン 土日に関係に季節できる体験教室(またはいつでも体験できるコーナー) 道のイベント(大人) ワイン・日本酒・ワイスキー 女性に気遣ったものを置いてほしい。特に冷気性などが助かるブランケットや、急に生暖かすぎて困らないようにナブキンのブランケットなど 飲食の出来るエリア 学習スペース 気軽に集まれる くつろげる場所 話し合えるエリア 手芸展(個人やグループ企画) 写真展(個人やグループ企画) 宴会(子供) 産産の食材を使って作るレストラン 全館利用 町×町コラボイベント 実演大会 市の見本市 町民発表会 大講堂祭 文化協会発表会	BGM体験 動物ふれあいイベント こどもの日 花見 いばらきボロボロ(青夏市) 交通安全教室 キャンプファイヤー BBQ ハニワまつり(歴史的なものの活用) 夏まつり 夏祭り、縁日 町試し 花火大会 スポーツ大会 スケボー大会 サイクリング 100×100ウォーキングガンパル 歳末中祭のおにごっこ ガール 子供達が楽しめる遊具(主にトランポリン) バンまつり やきいも大会 ハロウィンパーティー ドローン等飛ばしたり撮影体験(IT系体験) スポーツフェスティバル サイクリングイベント サッカー オールドカーミーティング 文化祭みたいなおこと ゲームセッション テームラボの光系イベント プロジェクションマッピングの紹介 コロナウイルスが落ち着いてきたらみんなで楽しく行事をしたり、話し合いができるようにして、いばらきまつりのようなことをしてほしいです。 サッカーコートを作ってほしい スポーツができる施設 もちつき大会 たこあげ うめ祭り クリスマススポーツ大会 持久走 聯合戦大会 子どもの仕事体験(お店を開く)仕入れ、仕付けなど自分たちで考えてお店を出す 駅を作ってほしい ハーブティー まきハーブ マルシェ カフェ パン屋 取巻祭(季節ごとに) 特産品の物産展(野菜・フルーツ・しじみ・メロン等) 朝市 ザークルの作品を販売する にぎわい グローママーケット フードフェスティバル お弁当・野菜等販売 スポーツ大会

凡例: ●自主事業(やってほしい) ■貸館事業(やってみたい)

次回予告!

第7回のワークショップのテーマは、「まちに飛び出す・まちに広げる」です。まちへ向けた情報発信の方法や、まちを巻き込んだイベントなどについて考え、「まちと施設のつなぎ方」を検討します! ニュースレター第7号の発行日は3月頃を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先: 029-297-3221 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小境1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第7回ワークショップ 「まちに飛び出す・ まちに広げる」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップニュースレター
いいい、いしば
みんなであつくりろ茨城町

第7号

令和5年2月15日（水）、第7回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催しました。前回から引き続き、高校生にも多数参加していただき、17名で意見交換を行いました。今回は「まちに飛び出す・まちに広げる」をテーマに、施設の外へ文化芸術を届ける「アウトリーチ事業（出前講座）」や、文化芸術を通じて地域や町を盛り上げるための「まちとの繋がり、連携」のアイデアをいただきました。

グループワークでは、これまでのワークショップで出た意見等から新しいアイデアも生まれ、アウトリーチや連携のアイデアへ発展させていきました。

また、今回は新たな文化的施設の模型を見学する時間も設け、各班で設計者から説明を聞き、施設のイメージを膨らませることができました！

各チームが考えたアウトリーチ・連携のアイデア（発表より）

アネモネチーム



アウトリーチのアイデア

- ・小学校で手話体験
- ・図書館でアンパンマンの鑑賞会
- ・幼稚園で読み聞かせ
- ・小中学校で合唱の出前コンサート
- ・子ども向けの音楽演奏会

まちとの連携のアイデア

- ・大判焼きのお店やパン屋の出店、キッチンカー
- ・高校生が教える実験教室
- ・塾の先生をよんで勉強会
- ・和菓子などの料理体験

うめチーム



アウトリーチのアイデア

- ・町の劇団をつくって学校や公民館をまわる
- ・音楽隊をよんで道路を行進、老人ホーム訪問
- ・大型人形劇を各地の公民館や商店街や町内の工場等普段は入れない場所で行う
- ・ゆうゆう館で映画の解説者を招いてトークショー
- ・まち全体でスタンブラーや宝探し

まちとの連携のアイデア

- ・社交ダンスクラブがお年寄りにダンスを教える
- ・町内の木業者や大工さんや畳屋さん、手芸好きの婦人が民芸品を新しく開発する
- ・レジデンスアーティスト（一定期間町に滞在しながら作品を制作する芸術家）に活動してもらう
- ・町出身の音楽家に音楽の良さを伝えてもらうWS
- ・町に住む海外の方の料理教室

マーガレットチーム



アウトリーチのアイデア

- ・自然観察会、勉強会で知名度向上を図る
- ・病院や老人介護施設等で町特産のハーブティーの講座
- ・学校での出前コンサート

まちとの連携のアイデア

- ・吹奏楽団体と連携してロビーコンサート
- ・町の事業者と連携して子どもの職業体験
- ・文化祭とコンサートを一緒に開催
- ・テーマを決めてまちぐるみのイベント
- ・歴史的な名所をまわってパンフレット制作

学校でのアウトリーチ活動への要望が多数挙がりました。その他、地域の公民館や老人ホームへの訪問コンサートや普段は文化活動で利用されないような場所でのアイデアもいただきました。まちとの連携では、地元の事業者や名所、活動団体等様々な地元の良さを活かすための幅広い意見が挙がりました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見		
アウトリーチ(出前事業)		連携したいまちの〇〇
音楽	すずきのみさん ※町出身の声楽家	事業アイデア
	町出身の声楽家を招き、声楽の良さ、楽しさを伝えるワークショップ	アート
	吹奏楽が老人ホームや小学校へ演奏に行く	工場フェス！工場を使った音楽フェス！もしくは芸術家の作品展示
	老人ホームや小学校などにオーケストラを呼び、音楽の楽しさや美しさを伝える	アーティストインレジデンス！
	一部の道路を閉鎖し、音楽隊による大行進	コンサートと展示文化祭 音+文化芸術
	学校でのコンサート	飲食店を招いて出張出店、出前
	吹奏楽コーラス×町内老人ホーム ロビーコンサート	料理教室、料理体験
	合唱の出前(小学校、中学校、老人施設など)	町で採れるものを使ったカフェ
	音楽演奏会(幼稚園、保育園)	いろいろな畑で収穫体験(農家さん)
	大型人形劇 ラ・マシーンなど	サイクリング×農産物、パン、お菓子
演劇パフォーマンス	まちの劇団が各学校へ	大福づくり、和菓子屋
	小中学校での劇	子どもたちによる商店街のお店屋さん体験
	集落センターで社交ダンス教室	町の事業所と連携して子どもたちの職業体験
	手話×小学校	保育士さんと連携した子育て世代の集いの場づくり カフェとの連携も…。
映像	映画の解説者を招いたトークショー付き上映会 各回ごとにテーマ(町や地方に関する事)を作り行う(年1回程度)	塾の講師による勉強会
	アンパンマンの映画鑑賞 図書館	科学実験(学生)
ものづくり	民藝品の開発(民藝品のプロデューサー、作家さんを招きワークショップ形式で開催。座学と実作業を並行して行う)	スライム作り(高校生が教える)
	町特産のハーブを使ったお茶、アロマ×病院、介護施設	町全体にオブジェを置き大規模スタンプラリー
	まちに住む海外の方の料理教室	まち全体で宝さがし
食	つくる、育てる、とる、食べる	山林で虫とり体験(地主さん)
	小中学校でのお菓子作り体験	イルミネーション、プロジェクトマップ×施設(親沢公園、酒沼自然公園)
	そばやうどん打ち 小学校で一緒に作る	歴史的な名所×文章作成講座 歴史の名所を巡ってパンフレットをつくる
アウトドア	酒沼でキャンプ教室	講座×町のおじさい リース作り、茨城町のものでアップサイクル
	酒沼でヨガ	太鼓の達人みたいなゲームとイベント
	自然観察会、勉強会 酒沼自然公園他	何かのテーマを決めて町ぐるみのイベントを開催する
	あんばまつり×光とコラボ 伝統のお祭りを…	町の人が参加できるイベント(スポーツ、eスポーツ)
	キャンプ、一人キャンプ指導	地域の方(高齢、茨城が地元)とお話会
釣り体験	おばけ屋敷(廃学校、廃病院)	
 <p>グループワークの中では施設の模型を使って、設計を担当する岡田新一設計事務所から、現時点の設計内容の説明がありました。</p>	連携したい場所、ひと、もの	
	場所	各地区の公民館
		商店街全体(小鎮、小幡など)
		町内の工場、作業場
		ゆうゆう館内の上映施設
		町内の空き店舗
	ひと、もの	町内に住んでいる木工所、大工さん、畳店、手芸好きのご婦人など…
		地元の大判焼き店
		パン屋
		キッチンカー(パフェ、たい焼き、焼きそば、ケバブ、焼き鳥、ピザ、たこ焼き、おでん屋)
町のおばあちゃんの豚汁		
セブンティーンアイス(自動販売機)		

次回予告！

第8回のワークショップのテーマは、「プレ事業・開館記念事業について考えよう」です。新たな文化的施設の開館前に行うプレ事業と、開館直後の記念事業について考え、開館に向けて町を盛り上げていく方法を検討します。ニュースレター第8号の発行日は5月頃を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：029-297-3221 〒311-3192茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第8回ワークショップ 「プレ事業・開館記念事業 について考えよう」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップユニコーンレター
いいい、いしば
みんなで作ろう茨城町

令和5年4月26日（水）、第8回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」を開催しました。前回から引き続き、高校生にも多数参加していただき、17名で意見交換を行いました。今回は、「プレ事業・開館記念事業」について考える「プレ事業・開館記念事業」について考えよう」をテーマに、新たな文化的施設が完成するまでの間に施設の理念や事業方針を早い時期から発信し、開館への期待を高めていくために「プレ事業」や、施設が最も注目される時期となる「開館記念事業」についてアイデアを出していただきました。グループワークでは、特に「にぎわい・交流」「町民活躍・町の魅力活用」の視点からの意見が多数生まれ、開館に向けた具体的な活動のイメージを思い描くことができました！

第 8 号

各チームが考えたプレ事業・開館記念事業のアイデア（発表より）

菜の花チーム



プレ事業

- ・オープン直前の現場見学会
- ・映画や演劇の記念イベント
- ・既存施設の解体前のさよならイベント
- ・SNSを活用し、施設の使い方を紹介
- ・仮囲いをグラフィックパターンで作る

開館記念事業

- ・VRでいろいろな風景を楽しめるイベント
- ・大きなくす玉を作って町民みんなで割る
- ・ダンスチームをつくって開館後も活動を行い、県内外へ出張公演も行う
- ・ゲストアーティストとの協働制作

チューリップチーム



プレ事業

- ・社交ダンス、しじみ合唱団の体験会
- ・農業の町を生かして野菜やおにぎりを振るまう屋外イベント
- ・町民から詩を募集してマシコタツロウ氏に作曲してもらう
- ・仮囲いツリーアート ・現場見学会

開館記念事業

- ・若者に人気のアーティストの公演
- ・特産品を活用した立食パーティー
- ・手作りのランタンを飛ばす
- ・カラーテープで壁にアート
- ・ダンスや歌でYouTubeとコラボ
- ・アイドルのコンサートと握手会

つくしチーム



プレ事業

- ・町民の芸術作品展示
- ・タイルアート等今後も残せる作品を作る
- ・学校や地域へ事前にアウトリーチ事業を行う
- ・町民によるプレ事業実行委員会の設置
- ・現場見学会 ・仮囲いアート

開館記念事業

- ・花火の打ち上げ、プロジェクションマッピング等普段できないことをやってほしい
- ・町出身の方を呼んでイベント
- ・幼小中高、町民が活躍できる場

すべてのチームで、仮囲いアート*や現場見学会、町民が積極的に参加できるイベントをしたいといった意見が挙がりました。その他、プロジェクションマッピング等のデジタル技術の活用、町の良さを活かしたイベント、SNSの活用等、これからの施設の未来を見据えたアイデアもいただきました。

*仮囲いアート：建設現場の仮囲いに絵を描いたりシールを貼ったりして装飾するイベント

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見		
プレ事業		開館記念事業
オープン直前の見学会(小・中・高生)		町ゆかりの著名人による公演(かみなり、音楽ライブ)
現場体験、見学会	現場見学	オープン記念講演会(町出身の有名人、著名人)
職場見学		音楽鑑賞、ライブ(一流アーティスト、室内楽、ジャズ、さだまさし)
イオンタウンや内原イオンのホールでプレ事業(しじみ合唱団のコンサートなど)		若者に人気のアーティスト(K-POP)
学校や地域へのアウトリーチ事業	鑑賞アウトリーチ	ダンススポーツ界の世界級のダンサーを呼ぶ
(プレ事業の開催は)建設地でなく、近く(ゆうゆう館)か、劇場庁舎とか		アンパンマンショー、仮面ライダー、プリキュアなど子供に人気のショーをやる
映画、演劇、ライブ等の記念イベント		映画祭(開館を記念したテーマを決めた特集上映)
社交ダンスの体験会		高校生バンドなどが開館記念でコンサートを開く
しじみ合唱団の体験会	体験	しじみ合唱団のコンサート
健康のため、シルバーリハビリ体操		ダンスパーティーやヒップホップダンスの披露
VRゲーム		特技披露(ダンス、けん玉など)
町民の芸術作品展示(絵画、書道、俳句、短歌等)	発表	町内で活動しているバンド、ダンス等サークルの発表会
町民による文化芸術の発表(地域に向けて)		町の人によるカラオケ、運動会、演奏会
アートイベント、壁面・描くはる		地域アイドルを募集しダンスと歌を発表してもらう
タイルアートとか、残せる作品を作れるイベントとか、ワークショップとか	アート制作	茨城町音頭をだれでも踊れる盆ダンスに曲を変えみんなで楽しむ
メッセージプレートをつけられるとか		ガッツ村 歌、踊り、絵、映像/幼小中高 農大 子供
町民の方から詩を募集→マシコタツロウに作曲してもらう		幼稚園生から大人までのチームを募集して歌う
町の特産品を集めたマーケット		絵の鑑賞
マルシェ 野菜、おかし	食	魚の観賞会(茨城町で見つけられる魚類を飾る)
「農業のまち」を生かして野菜やおにぎり、豚汁をふるまう(屋外イベント広場)		町のもの展示(町の歴史、ハニワ、出土した土器)
しじみラーメン出して食べる		ラムサール条約に登録された瀧沼の観光資源の紹介
まきもち(上様式)		文化的施設の歴史紹介
自分で作ったものを売る		キッチンカー等の人が集まる仕掛け
何かを作る体験(例えば机やイスなど)	手作り	祭りみたいなこと
開館記念くす玉作り		花火の打ち上げ
手づくりのランタン		ランタンを飛ばす
解体する大ホールに町民が直接メッセージなどを書く		キャンプファイアー、マイムマイム等
壊れる大ホールを使ったイベント(ありがとう大ホール、こんには文化施設的な)→開館後に引き継いで行ける企画を入れておく(マルシェ、盆踊りなど)	さよならイベント	プロジェクションマッピング
解体された部材を使ったアップサイクルアート		メロンなど特産品を活用した立食パーティー(有名なシェフを呼んで)お酒も
1つのキーとなるビジュアルを作成→壊される体育館にイベント→工事の仮囲いにも同じイメージをペイント→完成後の建物、広告物に同じエレメントを作ってイベント→身から育つ木のようにする		料理(流行の和風、韓国など)
町民参加型のダンスサークルを作る→開館に向けてダンスの振り付け(発表)曲の制作)→開館後ダンスチームとして近隣市町村で発表	開館後へつながる	開館記念アート(絵、折り紙など)、町民によるアート
町民演劇の上演→演出家に来町頂き一緒に作り上げていく、3~5年くらい		カラーテープを使用して壁にアートを作る
町民によるプレ事業実行委員会の設置		開館後のエンタランスで流す選曲をDJに依頼、町をテーマにした選曲を月替わりで提案、夏と冬にDAYイベントを
仮囲いをグラフィックパターンでかっこよく作る！月1回程度で参加するアーティストを交える	仮囲いアート	ゲストアーティストを呼んで美術作品の展示、町民との協働制作！
仮囲いツリーアート、全世代が参加できる仕掛け		ラジオ番組でサテライトスタジオ(マシコタツロウさん)青なじみの
いばらきまつりの時に仮囲いに自由にメッセージを書く		アイドルのコンサートと握手会を開催(コンサートはホール座席有り、握手会は平土間)
施設の色々な使い方の紹介		開会行事(第1部)その後、平土間を使っての芸術発表(第2部)
YouTube, Twitter, Tik Tok	インターネットSNS	ゲーム(スイッチとか)を大きなホールでやってみよう
映えそうなところで撮る		館の中を探検する
インスタなどSNSを活用して景色やアートなどを配信する		ドローンを使った施設全景の撮影とイベントの記録
既存事業で(町民まつりなど)新しい施設をPR		東高校チューチューパー田中くん
町公用車へアピールボード(マグネットシート)を張り付けアピール	広報	YOUTUBEとのコラボ(ダンスや歌)
ポスターを貼る		ポスタートリエンナーレ
		ポスターやフラッグで町内ジャック、同じイメージで施設のブランディングを図る

次回予告！

第9回のワークショップのテーマは、「施設の利用ルールを考えよう」です。新たな文化的施設を多くの人にとって使いやすい施設とするために、利用時間、休館日、予約方法、飲食可否など、必要なルールを検討します。ニュースレター第9号の発行日は7月頃を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。
詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先 ☎ 029-297-3221 〒 311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第9回ワークショップ 「施設の利用ルールを 考えよう」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップユニコーンズレター

いいい、いしば
みんなであつくりよう茨城町

第9号

令和5年6月14日(水)、第9回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」施設の利用方法を編み出すワークショップを開催しました。引き続き、高校生にも多数参加していただき、15名で意見交換を行いました。

今回は、「施設の利用ルールを考えよう」をテーマに、新たな文化的施設を利用するにあたって、施設の使い勝手や賑わいを生むためにはどんなルールが良いか、アイデアを出していただきました。特に、フリースペースや広場、飲食のルールについては、エリアや時間帯等で区切って利用のルールを検討したらどうかという意見が多数見られました。また、具体的なルールの検討することで、施設運営の参考とすることができました。

次回はいよいよ最終回です。最後までぜひお付き合ってください！

各チームが考えた施設の利用ルールに関するアイデア（発表より）

かたつむりチーム



開館日 利用区分

- ・週1日・年末年始休館、土日は開館
- ・利用区分は1時間制

予約方法 時間

- ・24時間利用できるWeb予約
- ・機械でも対応

フリースペース

- ・スペース内で区切ってルールを決める

広場

- ・路上ライブして良い日を決めて利用する

飲食

- ・決められた場所では飲食可、時間で決める

貸出品

- ・学割があると良い

あじさいチーム



開館日 利用区分

- ・現施設同様月1回休館 ・町民運営で24時間開館
- ・利用区分、ホールは3区分、諸室は時間制

予約方法 時間

- ・ホール6か月前、その他3か月前
- ・Web予約も必要だが、窓口での対応も必要

フリースペース

- ・人に迷惑をかけない前提としてルールは設けない

広場

- ・オブジェや遊べる場所があると良い

飲食

- ・演目等によって可否を検討して対応する

貸出品

- ・プロジェクター、録音機器、楽器、展示用備品等

かえるチーム



開館日・利用区分

- ・現行通り月1回休館

予約方法 時間

- ・ホールは1年前から予約開始
- ・Web予約はできたら良いが、管理が難しいか

フリースペース

- ・静かなスペースと賑やかなスペースを分ける

広場

- ・曜日のでできることやエリアを分ける

飲食

- ・飲食可の場がほしい

貸出品

- ・団体の持ち物を置く場所がほしい

各項目で、どのチームも概ね近い意見が出ていました。開館日に関しては現行通りが良いという意見と週1回の休館が必要ではないかという2つの意見がありましたが、管理上、必要になるお休みはとるべきという考え方は共通していたように思います。皆さんからいただいたご意見を踏まえ、利用ルールを検討してまいります。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見				
開館日、開館時間、利用区分		フリースペースのルール		
開館日	休館日は月1回が良い	利用時間	利用時間は限定、管理者の許可を得て自由に使える施設と時間制限を設ける	
	月に1回休館		フリースペース、一定の時間の利用にルールを	
	開館日週6日、時間8:00～21:00	エリアを分ける	時間制限は無し	
	毎週月曜日と年末年始+特別点検日		にぎやか、しずかエリアを分ける	
土・日にあいてほしい	フリースペースの利用を机の色で変え、ここは声出しOK、ここは静かに			
休日はあけてほしい	フリースペースを決める			
開館時間	土曜日、日曜日はやってほしい。	マナー	周りの迷惑になるようなことはしない(音を大きく流したりなど)	
	適宜臨時休館		静かなスペース	
	今まで通りの9:00～22:00		雑音や大声を出さない	
	(午前)9:00～(午後)10:00ぐらい		友達と話しながらかお菓子を食べたいけどごみはきちんと分別して捨てる	
	開館日週6日、時間8:00～21:00		迷惑行為をしない	
時間:8時～22時 *必要な場合は延長、もしくは早く開ける	利用区分	広場のルール		
臨時での時間の変更		エリアや時間を分ける	スケボー、バスケ 曜日、時間、エリア分けをする	
24時間！町民が運営する…			路上ライブは限定的に、けどオープン日、やれる日決めるとか 遊べる場所を設ける	
利用区分	利用区分は今まで通りが良い	全体	広めな区分で予約順	
	利用区分は13時間制だが、全ての時間を利用可能時間にするのではなくその内の2時間程をメンテナンスに使った方が良いと思った		広場にくるのは色々な人達がくるので、自分たちで持ってきたり使ったものは自己責任で	
予約方法	利用区分(予約方法) ホール:3区分、その他:1人ごとに	マナー	ごみは捨てない	
	現施設の利用ルールに慣れているので基本的にはそのままが良い		火はつかわない	
	予約方法、時間		その他	飲食の販売が出来る
	インターネット予約	芝生の辺りに遊具や木があるとよい		
	インターネットでの予約(24h)	公共性のあるアート作品、オブジェがあると長い時間が来てくれる、よりどころになる		
	インターネット予約や予約時の支払いなどで選択肢を増やす→様々な人(町民)がより利用しやすくなると思う	飲食のルール		
	予約 ネット、24時間チケット予約の際はアクセス時間の制限	エリア別		ホール・音楽スタジオでは飲食禁止、必要な場所は相談
ネット予約、ライン予約など簡単にしたい	会議室は飲食可にしてほしい			
web予約/用紙の予約両方受け付ける、LINE予約も受付	飲食は決められた場所で			
受付時間	電話	時間別	汚れたり掃除がしにくいところでは食べない	
	町外の人にも利用できる		ホール以外は飲食可、ただし調理が必要な場合は限定的に	
	定期利用団体の予約は現行通り日程調整会議で、毎年2月頃に翌年度分の1年分予約(月2回まで)		その他	飲食をするのは良いけど、するのは〇時～〇時の間だけなら飲食していいよみたいな時間を決める(朝、昼、夜で分けるなど)
役場の開庁時間	飲食できるスペースを多く(近くに食べるところがあまりない)			
予約開始時期	ホールの予約は利用日の1年前が良い	貸出品について	自動販売機を置いた方が良いと考えた	
	ホール基本6か月前(相談で1年もOK)、その他の部屋3か月前、広場6か月前(相談で1年に)		ゴミの持ち帰り	
貸出品について	もっと多くの楽器を置いた方が良いと思った	その他		
	楽器、ギター、ベース、ドラム、譜面台	字割制 貸出品、ホール、広場		
	プロジェクター、スクリーン	使用料はいくらか?		
	録音機械	使用規則を決める		
	ビデオカメラ			
	照明(要レールソケット)、展示用の備品			
団体の持ち物が置けるスペースがあると良い。(キーボード、電子ピアノなど)				

次回予告！

第10回のワークショップのテーマは、「施設のアピール方法と町民参加について考えよう」です。施設の取り組みを広く知らせる広報についてと、町民の皆さんの今後の施設への関わり方を考える2本立てです。ニュースレター第10号の発行日は9月頃を予定しています。

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先: 029-297-3221 | 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 | 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室



第10回ワークショップ 「施設のアピール方法と 町民参加を考えよう」



新しい文化的施設を考える
町民ワークショップニュースレター
いいい、いしば
みんなで作ろう茨城町

令和5年8月30日(水)、第10回「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ」施設の運営方法編を開催し、15名で意見交換を行いました。今回は、「施設のアピール方法と町民参加について考えるワークショップ」に、効果的な情報発信やアピールの方法を考えていただきました。また、施設の管理運営に町民の皆さんがどう関わっていきたくかについて話し合っていました。アピール方法については、各種SNSの活用、情報誌や動画配信による定期的な情報発信を行いたいという意見がありました。町民参加は、多世代で参加でき、町民が主体となって実施できるイベント、運営サポートとしての参加等、幅広く意見が挙がりました。今回で最終回となりました。ご参加いただいた皆さん、そしてかわら版をお読みいただいた皆さん、ありがとうございました。今後情報発信していくので、ぜひご覧ください！

第10号

各チームが考えた施設のアピール方法と町民参加に関するアイデア（発表より）

かき氷チーム



情報発信 アピール方法

- ・SNS (TikTok, Instagram, Youtube, LINE)
⇒若い人に情報が届く、保護者網を使う
- ・メディア (ラジオ、テレビ、新聞、広報いばらき)
⇒回覧よりも Web 配信の方が伝わる
- ・施設をアピールするイベント
⇒建設中に見学会、仮囲いアート、内覧会、ライブ内覧会、パブリックビューイング

町民参加

- ・各世代が参加することが基本
- ・地区の代表と定期的に会合を設ける
- ・町民参加によるイベント
⇒施設名を募集、ダンスイベント、歌うイベント、なんでもコンテスト、コスプレ
- ・サポートスタッフとしての参加
⇒自主運営でカフェ、職業体験でもぎりサポート、プレ情報誌発行、アーティストの取材
- ・サポートスタッフにお弁当が出ると良い

りんご飴チーム



情報発信 アピール方法

- ・学生の通学路にポスターを掲示
- ・折り込みチラシ、有料の広報誌に情報掲載
- ・施設の情報誌を定期的に発行すべき
⇒配布方法は全戸配布に加え、近隣公共施設に置いてもらいたい
- ・フラッグ広告の掲示
- ・ラジオ番組、動画の配信
⇒活動者、イベント内容、インタビュー動画など

町民参加

- ・市民団体を立ち上げて運営事務局を担う
⇒メディア班、ボランティア班のように活動ごとの班があったら横断的に運営ができる
- ・友の会、町民の会を設立
- ・ボランティアは登録制とする
⇒町民祭等をやる際に登録団体へボランティア協力を知らせ、マッチングしやすい
- ・地域通貨がもらえて町で使える仕組み
- ・学生がやりたいことをすぐに実現できる仕組み

情報発信、町民参加ともに、いろいろな方法をミックスして実施することで効果を高められるのではないかという意見が出ていました。また、多世代の方が施設で楽しめる仕組みづくりを行うことで、町民参加を促すことが必要との意見も挙がりました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

グループワークでのご意見		
情報発信・アピール方法	町民参加	
SNS、インターネット活用	組織、仕組みづくり	各世代が参加することが基本
		地区の代表と定期的に会合を設ける
		NPOなどの運営事務局の設立(横断的、多年度にわたり活動ができる仕組み)
		プレ情報誌の発行を目指した団体等の立ち上げ→情報誌発行
		ボランティアをやりたいと思える企画や仕向け方
		ボランティアスタッフの登録制団体を作る
		行事の手伝いをさせていただくボランティアの会を作る
チラシ、ポスター等	サポート活動	文化的施設サポート町民の会の設立
		支援隊(活動報酬つき)
		友の会を作りボランティアをしていただいた時にポイントを差し上げる
		新会館の友の会設立と会員募集
		公共交通機関の充実
		サポートスタッフとしての参加
		サポートスタッフによる支援
メディア掲載・発行	イベント企画・協力参加	自主運営でカフェ
子どもたちに職業体験の一環としてチケットもぎりなどのサポートスタッフ体験		
子どもたちにアーティストなどの取材をしてもらう		
サポートスタッフにお弁当などができる		
学生なども参加や企画ができる祭りなどの活動を作る		
施設名を募集して決めるイベント		
イベントの時に町内のお弁当屋さんに参加してもらう		
イベント実施	イベント企画・協力参加	地元の方々(アーティスト、スポーツ選手、有名人など)を呼んで、学校などに訪れる
		各種ダンスのイベントを開く
		コンテスト(なんでも)
		歌うま選手権
		アニメ等のイベント、コスプレ
		建設中に見学会や仮囲いを利用した絵で関心を引く
		内覧会をPR
openingコンサート		
パブリックビューイング		
外で遊べる遊具		
プレオープニングイベント(1年くらい前から…)→オープニングイベント(芸術家を呼ぶ)		

今回のワークショップが「茨城新聞 令和5年9月7日発行 19面」で取り上げられました!

ご参加いただきありがとうございました!

「新たな文化的施設を考える町民ワークショップ～施設の運営方法編～」は、今回をもって全5回の日程をすべて終了しました。施設の機能や諸室構成に関するワークショップから通算すると全10回にわたり、様々な視点から、施設に対するたくさんの思いをお聞きすることができました。ワークショップに参加されたすべての皆さま、ご協力ありがとうございました!

今後は、これまで頂いたご意見を参考に「管理運営計画」を作成し、事業や規則、組織などについて指針を定めていきます。同時に、開館までに行うイベントなど、皆さまに楽しんでご参加いただけるような企画をしっかりと考えていきますので、ぜひこれからの展開にもご注目ください。

引き続き、茨城町「新たな文化的施設」をよろしく願いいたします!



参加された方への感謝状贈呈式

ニュースレターの内容については、茨城町のホームページにも掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。



お問い合わせ先: 029-297-3221 | 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 | 茨城町役場都市整備課文化的施設整備推進室

茨城町新たな文化的施設管理運営計画

令和6年3月

<編集・発行>

茨城町 都市建設部 都市整備課

〒311-3192

茨城町大字小堤 1080 番地

029-292-1111(代表)

